昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和52年3月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

89 MARCH 1977



本誌専用合本バインダー予約受付中

バドミントン界１年分12冊を，穴もあけず，ノリも不要の便利な合本バインダーを受付中です。定価 500円（送料実費）です。ご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あて申込冊数明記のうえお申し込みください。代金後払いでお送りいたします。

別冊
1977年バドミントン・カレンダー
The Badminton World '77
が発行されました
〈残りがわずかとなりました〉

日本バドミントン協会では，昨年別冊 The Badminton World '76 カレンダーを発行し，大変ご好評をいただきましたが，今年は，全ページカラーで発売中です。大きさはＢ３判（週刊誌の４倍大）12ページ。定価 950円（送料実費）。収録選手は1976年の国内大会で好成績を収めた次の男女選手です。

◆男子◆小島一平・池田信孝・栂野尾昌一・銭谷欽治・飯野佳孝・土田証雄・長谷川博幸・西村正美

◆女子◆湯木博恵・栂野尾悦子・池田美加・徳田敦子・秋本八代美・谷美津代・秋本幸子・植野恵美子

The Badminton World '77 カレンダーをご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あてお申し込みください。代金後払いでお送りいたします。

●好評発売中
「ユーバー杯奪還への道」

「第７回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会」の全記録を収録。カラーを含む数十枚の写真によって各国出場選手のプレーを分析できる選手・指導者必携の書。

- 編集＝バドミントン界編集部
- 著者＝本田弘敏・小宮淳宏・小飼栄一・後藤忠弘・福井正康・宮永武司・中山紀子
- 写真撮影＝山田真市
- 定価 1,000円（送料 120円）

お申込みは下記日本バドミントン協会出版局へハガキでどうぞ。

バドミントン界編集部

〒150 東京都渋谷区神南１－１－１
岸記念体育会館内

バドミントン界
THE BADMINTON WORLD
NO. 89

1977年3月号　　目次

表紙撮影，本文中写真・山田真市，読者　イラスト・中島　潔

昭和51年度オールジャパン詳細報告……2
〔グラフ〕……14

直撃インタビュー……小島一平選手は語る
今だから話そう……6

―特別企画―
サントリーチームを訪ねて……8

ごくろ～さまです
シャトルコックの製造工程……22

◎新製品紹介コーナー・New Products Informtion……26
◎バドミントン界バックナンバー販売一覧表……30
◎編集室から……32

昭和51年度オールジャパン詳細報告

▼MS（男子単）▲

▽第1回戦

小浜　充弘（一条高）　0 — 棄権 — 2　牧野　光男（高岡市役所）

西村　正美（中　大）　0 — 4 7 15 — 2　長谷川　進（明和養護教）

宮宇地　宏（高松商高）　0 — 4 3 15 — 2　鈴木　健二（電電東京）

李　恩求（韓　国）　2 — 15 15 7 — 0　笠井　教行（関東自工）

宮崎　克充（慶　大）　2 — 15 15 5 — 0　寺崎　由雄（敦賀市教委職）

小島　一平（RS元町）　2 — 15 15 6 — 0　牧野　光男

栂野尾昌一（ヨネックス）　2 — 15 15 12 15 — 1　舛田　吉光（日体大）

関　一誠（早大体育局）　0 — 12 9 15 — 2　村元　英美（青学大）

工藤　勇参（中央高教）　0 — 棄権 — 2　尾崎　幹雄（電電東京）

遠藤　好男（電電北海道）　0 — 7 9 15 — 2　長谷川　進

米沢　和男（高岡市役所）　2 — 棄権 — 0　幹　盛貴（韓　国）

土田　証雄（電電東京）　2 — 15 15 8 4 — 0　藤原　健二（打出中教）

▽第2回戦

秋山　真男（秋山紙店）　2 — 15 15 12 9 — 0　李　恩求

藤上　良信（比叡山高教）　1 — 4 17 6 15 16 15 — 2　飯野　佳孝（ヨネックス）

長谷川博幸（中　大）　2 — 15 15 10 11 10 15 — 1　舟山　敏彦（　）

諸多　博之（一条高）　0 — 棄権 — 2　谷口　寛（トヨタ自工）

山本　茂樹（和歌山商高教）　2 — 棄権 — 0　李　玉鉉（韓　国）

原　敏夫（法　大）　1 — 12 15 7 15 9 15 — 2　今泉　勉（高岡市役所）

池田　信孝（電電東京）　2 — 15 15 15 7 17 1 — 1　管　敏明（中　大）

宮崎　克充　0 — 5 4 15 15 — 2　銭谷　欽治（河崎ラケット）

村元　英美　0 — 2 14 15 17 — 2　尾崎　幹雄

小島　一平　2 — 15 15 11 10 — 0　栂野尾昌一

長谷川　進　1 — 17 12 15 18 15 9 — 2　米沢　和男

▽第3回戦

鈴木　健二　2 — 18 15 10 16 9 15 — 1　辻　敏弘（法　大）

秋山　真男（秋山紙店）　2 — 15 15 12 9 — 0　李　恩求

藤上　良信（比叡山高教）　1 — 4 17 6 15 16 15 — 2　飯野　佳孝（ヨネックス）

長谷川博幸（中　大）　2 — 15 15 10 11 10 15 — 1　舟山　敏彦（　）

諸多　博之（一条高）　0 — 棄権 — 2　谷口　寛（トヨタ自工）

山本　茂樹（和歌山商高教）　2 — 棄権 — 0　李　玉鉉（韓　国）

原　敏夫（法　大）　1 — 12 15 7 15 9 15 — 2　今泉　勉（高岡市役所）

池田　信孝（電電東京）　2 — 15 15 15 7 17 1 — 1　管　敏明（中　大）

宮崎　克充　0 — 5 4 15 15 — 2　銭谷　欽治（河崎ラケット）

村元　英美　0 — 2 14 15 17 — 2　尾崎　幹雄

小島　一平　2 — 15 15 11 10 — 0　栂野尾昌一

長谷川　進　1 — 17 12 15 18 15 9 — 2　米沢　和男

▽第4回戦

土田　証雄　2 — 15 15 6 5 — 0　鈴木　健二

秋山　真男　2 — 15 18 14 11 16 17 — 1　飯野　佳孝

長谷川博幸　1 — 1 14 15 15 18 10 — 2　谷口　寛

山本　茂樹　1 — 8 10 15 15 15 1 — 2　今泉　勉

池田　信孝　0 — 10 4 15 15 — 2　銭谷　欽治

小島　一平　2 — 15 15 3 2 5 15 — 1　尾崎　幹雄

米沢　和雄　0 — 8 10 15 15 — 2　土田　証雄

秋山　真男　0 — 5 12 15 15 — 2　谷口　寛

今泉　勉　0 — 5 9 15 15 — 2　銭谷　欽治

▽準決勝

小島　一平　1 — 4 10 15 15 15 5 — 2　土田　証雄

谷口　寛　0 — 3 8 15 15 — 2　銭谷　欽治

▽決勝

土田　証雄　0 — 2 9 15 15 — 2　銭谷　欽治

▼LS（女子単）▲

▽第1回戦

藤井　良子（新潟青陵高）　2 — 11 11 8 — 0　日山　裕子（日体大）

柴田　真弓（滋賀女高）　0 — 7 5 11 11 — 2　大塚ソノエ（日体大）

古谷　成代（ヨネックス）　2 — 11 12 7 9 — 0　河村　茂美（四条畷高）

山本美津子（吉原高）　0 — 3 4 11 11 — 2　佐藤　真弓（四条畷短大）

藤島　百子（函館大妻高教）　0 — 2 2 11 11 — 2　阿部　俊子（一条高）

湯木　博恵（河崎ラケット）　2 — 11 11 0 0 — 0　藤井　良子

石田　雅子（岡山県教委）　0 — 7 1 11 11 — 2　高田　幹子（四条畷短大）

秋本八代美（サントリー）　1 — 10 8 11 3 — 2　渡辺多喜子（日女体大）

南雲　栄子（渋川女高）　0 — 5 1 11 11 — 2　石崎　茂子（電電東京）

植野恵美子（四条畷学園短大）　2 — 11 11 9 2 7 12 — 1　大塚ソノエ

石原　英子（高松琴平電鉄）
秋本　幸子（サントリー）
古谷　成代
栂野尾悦子（ヨネックス）
石川　好子（四条畷学園高）
西尾真理子（サントリー）
朴　玉連（韓　国）
呉　研漢（韓　国）
朴　玉連（韓　国）
北島　稔子（大東高教）
近藤　小織（日女体大）
阿部　俊子
▽第3回戦
湯木　博恵
植野恵美子
千葉　陽子

2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2

11-5 12-9 | 8-11 4-11 11-9 | 11-7 12-9 0-11 | 11-3 11-1 | 8-11 3-11 | 11-0 11-2 | 12-10 12-10 | 6-11 3-11 | 6-11 3-11 | 5-11 5-11 | 12-9 11-2 | 1-11 2-11 | 11-3 11-8 | 6-11 4-11 11-4 | 11-9 11-2

0 古谷　成代 | 1 宋　香順（韓　国） | 2 千葉　陽子（日女体大） | 0 高間裕見子（川崎工高） | 2 米倉よし子（日女体大） | 0 佐藤　真弓 | 2 池田　美加（河崎ラケット） | 0 関根　和子（日体大） | 2 谷　美津代（サントリー） | 0 陣内　裕子（ヨネックス） | 2 徳田　敦子（サントリー） | 0 高田　幹子 | 2 石崎　茂子 | 0 堀川栄美子

堀川栄美子（青陵高教）
桐生台次郎（桐生南高教）
今井　勇司（渋川女高教）
鈴木　健二田所　光男（電電東京）
西村　正美長谷川博幸（中　大）
池田　信孝（電電東京）
梶野尾昌一（ヨネックス）
幹　盛貴（韓　国）
李　玉鉱
中井　基夫辻　敏弘
池田　隆治出石　勉
杉田　博（立野高教）
瀬戸　孝（産業能率短大職）
秋山　真男（秋山紙店）
小島　一平（RS元町）
小浜　充弘諸多　博之（一条高）
渡辺　紘一（尚絅女高教）
木戸　純一（常盤木高教）
大場　和博西村　龍夫（ヨネックス）
米沢　和男米原　昭男（高岡市役所）
神戸　照（鳴鹿小教）高岡　桂（勝山北中教）
鷲尾　正一池田　文昭（大阪スワロー化研）
今井　茂満（河崎ラケット）関　一誠（早大体育局）
池田　隆治出石　勉（日体大）
木村　敏男遠藤　好男（電電北海道）

上原　明平野　勝彦（高松商高）
須藤　茂栗原　恒夫（日体大）
藤原　健二（打出中教）藤上　良信（比叡山高教）
今泉　勉牧野　光男（高岡市役所）
工士　恭司（工士商店）大束　蔵文（県　庁）
梶田　敏夫宮崎　克巳（慶　大）
尾崎　幹雄（電電東京）銭谷　欽治（河崎ラケット）
三ノ宮芳和秋葉　博（中　大）
舛田　吉光岩崎　盛和（日体大）
李　恩求権　承沢（韓　国）
中井　基夫辻　敏弘（法　大）
今井　茂満（河崎ラケット）関　一誠（早大体育局）
中村　敏男遠藤　好男（電電北海道）

0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2

14-18 1-15 | 15-8 13-18 15-6 | 棄権 | 15-7 15-10 | 棄権 | 15-5 15-12 | 15-9 15-13 | 15-6 15-6 | 11-15 15-13 2-15 | 7-15 8-15 15-6 | 17-14 15-12

2 上原　明平野　勝彦（高松商高） | 1 藤原　健二（打出中教）藤上　良信（比叡山高教） | 0 工士　恭司（工士商店）大束　蔵文（県　庁） | 2 梶田　敏夫宮崎　克巳（慶　大） | 0 尾崎　幹雄（電電東京）銭谷　欽治（河崎ラケット） | 2 三ノ宮芳和秋葉　博（中　大） | 0 舛田　吉光岩崎　盛和（日体大） | 2 李　恩求権　承沢（韓　国） | 0 中井　基夫辻　敏弘（法　大） | 2 今井　茂満（河崎ラケット）関　一誠（早大体育局） | 0 木村　敏男遠藤　好男（電電北海道）

▼MD（男子複）▲

▽第1回戦
大幡　洋一高嶋　嘉男（真岡農高）
舟山　敏彦（大潟中職）遠藤　昭夫（鷹巣中央小職）
▽第2回戦
飯野　佳孝（ヨネックス）土田　証雄（電電東京）
▽準決勝
湯木　博恵
栂野尾悦子
▽決勝
湯木　博恵
栂野尾悦子
▽第4回戦
湯木　博恵
植野恵美子
呉　研漢
栂野尾悦子
西尾真理子
呉　研漢
近藤　小織
▽第4回戦
湯木　博恵
栂野尾悦子
米倉よし子

2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1

15-3 15-3 | 5-15 8-15 | 11-1 1-5 | 11-0 12-10 | 11-8 11-8 | 11-4 2-11 3-11 | 11-4 3-11 | 11-1 7-11 | 11-4 9-12 12-11 | 11-7 7-11 | 12-10 11-10 8-10 | 11-8 4-11 11-12

0 舟山　敏彦遠藤　昭夫 | 2 | 0 梶野尾悦子 | 0 呉　研漢 | 0 植野恵美子 | 1 近藤　小織 | 0 西尾真理子 | 0 千葉　陽子 | 0 石崎　茂子 | 1 徳田　敦子 | 0 谷　美津代 | 0 池田　美加 | 1 米倉よし子

小織）

梶野尾悦子（青陵高教）
桐生台次郎（桐生南高教）
今井　勇司（渋川女高教）
鈴木　健二田所　光男（電電東京）
西村　正美長谷川博幸（中　大）
池田　信孝（電電東京）
梶野尾昌一（ヨネックス）
幹　盛貴（韓　国）
李　玉鉱
中井　基夫辻　敏弘
池田　隆治出石　勉
杉田　博（立野高教）
瀬戸　孝（産業能率短大職）
秋山　真男（秋山紙店）
小島　一平（RS元町）
小浜　充弘諸多　博之（一条高）
渡辺　紘一（尚絅女高教）
木戸　純一（常盤木高教）
大場　和博西村　龍夫（ヨネックス）
米沢　和男米原　昭男（高岡市役所）
神戸　照（鳴鹿小教）高岡　桂（勝山北中教）
鷲尾　正一池田　文昭（大阪スワロー化研）
今井　茂満（河崎ラケット）関　一誠（早大体育局）
池田　隆治出石　勉（日体大）
木村　敏男遠藤　好男（電電北海道）

0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2

7-18 12-15 | 13-15 7-15 | 棄権 | 5-15 10-15 | 15-13 15-10 | 15-12 15-11 | 15-11 11-15 17-14 | 8-11 15-9 5-15 | 15-11 15-3 | 9-15 7-15 | 11-15 9-15 | 4-15 10-15 | 棄権 | 11-15 14-17 | 17-15 15-1

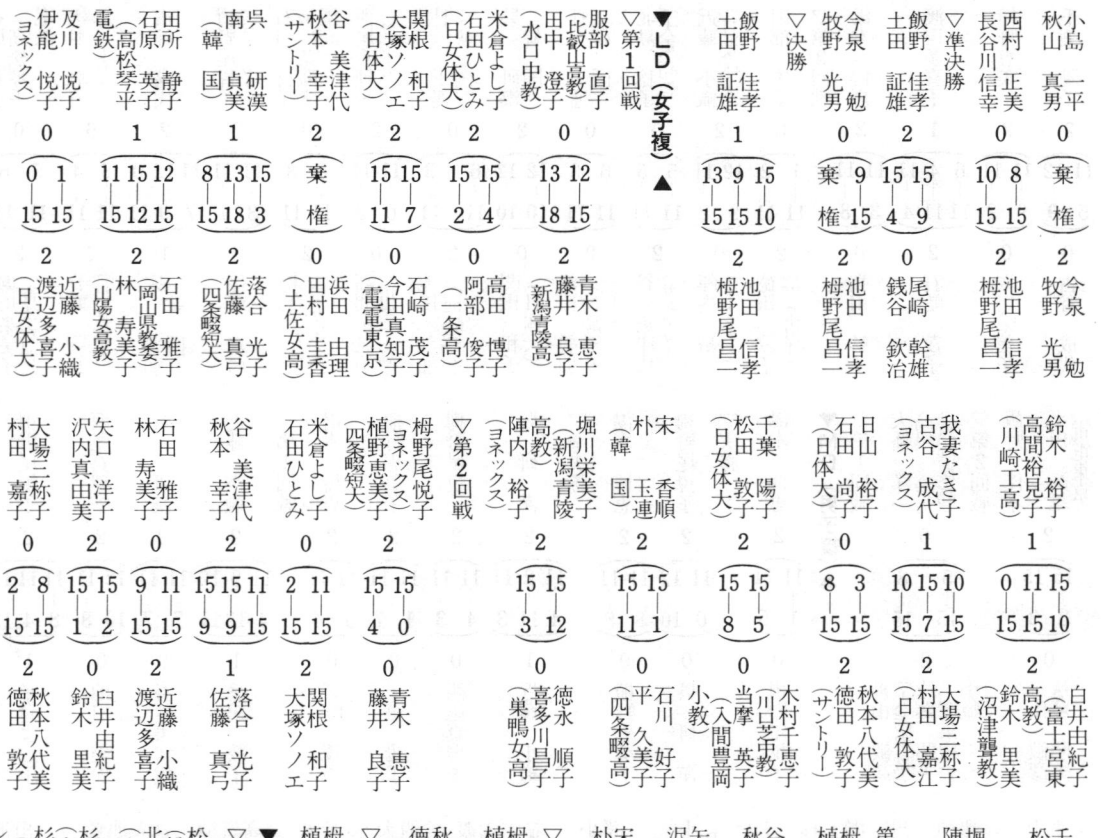
2 鈴木　健二田所　光男（電電東京） | 2 西村　正美長谷川博幸（中　大） | 0 幹　盛貴李　玉鉱（韓　国） | 2 池田　信孝（電電東京）梶野尾昌一（ヨネックス） | 1 池田　隆治出石　勉 | 0 中井　基夫辻　敏弘 | 1 大場　和博西村　龍夫 | 2 尾崎　幹雄銭谷　欽治 | 0 杉田　博瀬戸　孝 | 2 今泉　勉牧野　光男 | 0 西村　正美長谷川博幸 | 2 池田　信孝梶野尾昌一 | 0 谷口　寛磯野　雄二 | 2 尾崎　幹雄銭谷　欽治 | 0 今井　茂満関　一誠

渡部　紘一木戸　純一
米沢　和男米原　照男
今井　茂満関　一誠
飯野　佳孝土田　証雄
藤木　浩山本　秀樹（日　大）
谷口　寛磯野　雄二（トヨタ自工）
寺崎　由雄（敦賀教委職）近藤　孝晴（近藤商店）
小島　一平秋山　真男
須藤　茂栗原　恒夫
鈴木　健二田所　光雄
谷口　寛磯野　雄二
▽第4回戦
米沢　和男米原　照男
飯野　佳孝土田　証雄

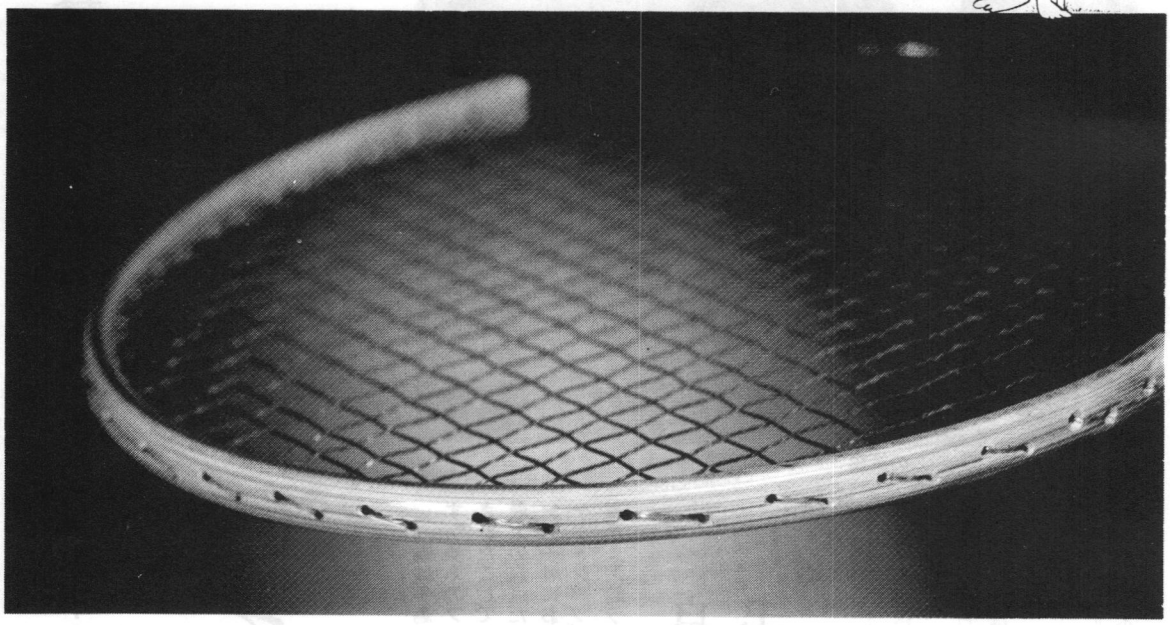
0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0

11-15 14-17 | 17-15 15-1 | 4-15 10-15 | 11-9 15-15 | 9-7 15-15 | 15-15 11-3 | 8-15 15-9 5-15 | 15-11 11-15 17-14 | 15-12 15-11 | 15-13 15-10 | 5-15 10-15 | 棄権 | 13-15 7-15 | 15-12 15-11 | 棄権

2 尾崎　幹雄銭谷　欽治 | 0 今井　茂満関　一誠 | 2 池田　信孝梶野尾昌一 | 2 西村　正美長谷川博幸 | 2 今泉　勉牧野　光男 | 0 杉田　博瀬戸　孝 | 2 尾崎　幹雄銭谷　欽治 | 1 大場　和博西村　龍夫 | 0 中井　基夫辻　敏弘 | 1 池田　隆治出石　勉 | 2 池田　信孝（電電東京）梶野尾昌一（ヨネックス） | 0 幹　盛貴（韓　国）李 | 2 西村　正美長谷川博幸（中　大） | 0 鈴木　健二田所　光男（電電東京）


▼LD（女子複）▲
▽決勝
小島 一平
秋山 真男
0
棄権
2
今泉 勉
牧野 光男
西村 正美
長谷川信幸
0
10 8
15 15
2
池田 信孝
桝野尾昌一
▽準決勝
飯野 佳孝
土田 証雄
2
15 15
4 9
0
尾崎 幹雄
銭谷 欽治
今泉 勉
牧野 光男
0
棄 9
権 15
2
池田 信孝
桝野尾昌一
飯野 佳孝
土田 証雄
1
13 9 15
15 15 10
2
池田 信孝
桝野尾昌一
▽第1回戦
服部 直子
（比叡山教）
田中 澄子
（水口中教）
0
13 12
18 15
2
青木 恵子
藤井 良子
（新潟青陵高）
米倉よし子
石田ひとみ
（日女体大）
2
15 15
2 4
0
高田 博子
阿部 俊子
（一条高）
関根 和子
大塚ソノエ
（日体大）
2
15 15
11 7
0
石崎 茂子
今田真知子
（電電東京）
谷 美津代
秋本 幸子
（サントリー）
2
棄権
0
浜田 由理
田村 圭香
（土佐女高）
呉 研漢
南 貞美
（韓国）
1
8 13 15
15 18 3
2
落合 光子
佐藤 真弓
（四条畷短大）
田所 静子
石原 英子
（高松琴平電鉄）
1
11 15 12
15 12 15
2
石田 雅子
（岡山県教委）
林 寿美子
（山陽女高教）
及川 悦子
伊能 悦子
（ヨネックス）
0
0 1
15 15
2
近藤 小織
渡辺多喜子
（日女体大）
▼MixD（混合複）▲
▽第1回戦
松尾 益吉
（松江家政教）
北島 稔子
（大東高教）
1
2 15 4
15 9 15
2
関 一誠
（早大体育局）
石田 雅子
（岡山県教委）
杉田 博
（立野高校）
杉田 良子
（日本コロンビア）
0
6 4
15 15
2
大場 和博
古谷 成代
（ヨネックス）
桝野尾悦子
植野恵美子
2
15 18
0 16
0
湯木 博恵
池田 美加
▽決勝
秋本八代美
徳田 敦子
1
12 11 18
15 15 14
2
湯木 博恵
池田 美加
桝野尾悦子
植野恵美子
2
15 15
4 4
0
谷 美津代
秋本 幸子
▽準決勝
桝野尾悦子
植野恵美子
2
15 15
6 3
0
関根 和子
大塚ソノエ
宋 香順
朴 玉連
1
6 12 15
15 15 13
2
湯木 博恵
池田 美加
矢口 洋子
沢内真由美
0
6 17
15 18
2
秋本八代美
徳田 敦子
谷 美津代
秋本 幸子
2
15 18 12
12 16 15
1
近藤 小織
渡辺多喜子
第3回戦
桝野尾悦子
植野恵美子
2
15 15
6 3
0
関根 和子
大塚ソノエ
堀川栄美子
陣内 裕子
0
1 14
15 18
2
湯木 博恵
池田 美加
（カワサキラケット）
千葉 陽子
松田 敦子
1
5 15 10
15 13 15
2
宋 香順
朴 玉連
▽第2回戦
今井 勇司
（渋川女高教）
秋山 晴江
（新島学園高教）
0
9 2
15 15
2
池田 信孝
石崎 茂子
（電電東京）
桝野尾昌一
桝野尾悦子
（ヨネックス）
2
15 15
5 8
0
田中 康二
（葛城中教）
池尻千恵子
（茂原高教）
野本 網夫
清水 礼子
（電電東京）
0
13 5
15 15
2
谷口 寛
布上 茂美
（トヨタ自工）
堺 栄一
湯木 博恵
（河崎ラケット）
2
15 15
3 0
0
伊藤 澄
（亀戸中教）
久留島敦子
（西原小教）
菅原 薫
我妻たき子
（ヨネックス）
0
8 4
15 15
2
田所 光男
今田真知子
（電電東京）
今井 茂満
池田 美加
（河崎ラケット）
2
15 15
2 8
0
関 一誠
石田 雅子
大場 和博
古谷 成代
2
15 15
13 12
0
池田 信孝
石崎 茂子
桝野尾悦子
桝野尾昌一
2
15 15
6 2
0
谷口 寛
布上 茂美
堺 栄一
湯木 博恵
（河崎ラケット）
2
15 18 4
6 16 15
1
田所 光男
今田真知子
▽準決勝
今井 茂満
池田 美加
2
15 15
5 10
0
大場 和博
古谷 成代
桝野尾昌一
桝野尾悦子
2
15 15
5 7
0
堺 栄一
湯木 博恵
▽決勝
今井 茂満
池田 美加
0
10 7
15 15
2
桝野尾昌一
桝野尾悦子

竹の特性を生かした話題のバンブーラケット!!



竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積、ここに今話題のバンブーラケット〈ハイ・トーマス〉が誕生しました。

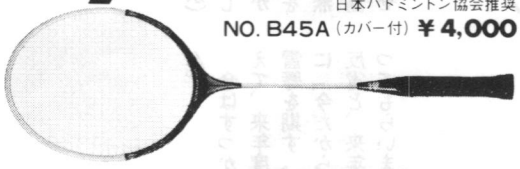
■竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。■薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。■ガット張りによるラケットの変形が起らない。■ソフトグリップが手に良くなじみます。

バドミントンラケット〈ハイ・トーマス〉

Hy-Thomas

日本バドミントン協会推奨

NO. B45A（カバー付）¥4,000



株式会社ゴーセン

本　　社・大阪市東区瓢箪町4 ・ TEL. (06) 942 5816 (代)
東京支店・東京都台東区蔵前4 14 2 TEL. (03) 862 6576 (代)
福岡営業所・福岡市中央区薬院1 4 8 TEL. (092) 712 5247～8

理想のガット〈ウインテックス〉!!

Wintex Racket String

TOURNAMENT GAUGE
1.35mm for TENNIS　0.73mm for BADMINTON



弾力性・耐久性バツグンのステンレススチールワイヤー巻きの高級ガットです。

すばやい動きがいつもフレッシュ!!

Wintex WEAR



●カタログは、最寄の有名スポーツ用品店又は、(株)ゴーセン スポーツ用品部迄お問合せ下さい。

直撃インタビュー……小島一平選手は語る

今だから話そう



この笑顔！「完全に立直ってます」

〝遂に小島一平選手V9ならず〟多くのファンの方は肩を落されたことでしょうが、今年度最大の焦点だったオールジャパン男子単において、小島選手（ラケットショップ元町）は、銭谷選手（河崎ラケット）との対戦を前にして土田選手（電々東京）に敗れるという波乱を演じてしまいました。このまま引きさがっては〝ガッツ小島〟の異名を返上しなければなりません。無論、黙ってそれを享受する小島一平さんであるはずがありません。

今はすっかり敗戦の痛手も癒えて、来年度オールジャパンの雪辱を期す〝燃える小島〟選手に「今だから話せる」今年度の反省と、来年度の抱負などを語ってもらいましょう。

良薬は口に苦し
手本だった秋山さん

（以下、敬称略）

――まず、オールジャパンの準決勝で土田選手と対戦した試合から振り返ってみて下さい。

小島　どっちかと言うと、バドミントンには苦手と言うのがあるでしょう。僕の場合は、ダブルスプレイヤーがそうなんだ。土田君は最近、シングルスでも力を付けて来ているけど、ダブルスも上手いでしょう。ダブルスプレイヤーと言うのは、決めが早くて、鋭い。昔からオールジャパンの連勝をストップされたのも、ダブルスプレイヤーの栂野尾君だったし、長身から角度のある球を打って来る選手が苦手だったね。サウスポーはそれほど嫌とは思わないけど、実際に土田君が、シングルスにおいても力を付けてきているのは確かだね。銭谷ともいい試合をしているし、一番伸びているみたいだ。

試合運びにも問題があったみたいだ。1ゲーム目を簡単にとってしまったので、安心感が生まれて雑になったような気がする。終ってみると、もっと完璧に粘っても良かったんじゃない

かと思う。

今回は、試合前に良く走り込んだし、持久力に関しては自信があったんだけど、年とともに落ちて来ている瞬発力、この瞬発力を付ける練習なり、トレーニングをしなかったのは心残りだ。

土田君についてもっと言えば、銭谷に続く若手として、非常にファイトもあるし、いい勝負根性を持っているから、もっともっと伸びて来ると思う。負けたことのショックよりも、手応えのある負け方だったと感じたね。今までの十年間にオールジャパンでは2回負けて、その両方とも、体力不足や練習不足だと、原因がはっきりしていたけど、今回はちょっと意味が違うような気がした。シングルスがダブルス化していく中で、自分は年年攻撃できなくなる。若い頃は打って決っていても、それが出来なくなる。だから完璧なディフェンスをまだまだ身に付けなければ、そう思ったね

――過去にも、そうしたプレイの転換期と言ったものはあったことなんでしょうが、オールジャパンのこととは少し話はそれて、その小島さんの、学生時代からのプレイの転換期について話してくれませんか

小島　僕も大学時代から海外へ遠征に行くようになって四、五年間は、完全に攻撃力六分、守備力四分の選手だったね。だけど、それじゃあなかなか成績が安定しない。海外ではどうしても、取りこぼしをしてしまう。そこで段々攻撃力五分、守備力五分になって来たんだね。そうしたら海外でもある程度安定した成績を残せたし、オールジャパンでも連勝することが出来た。

兎に角、昔はオールジャパンで優勝しないと、全英に行けない時代だったからベスト8とかベスト4とかじゃなくて、優勝しかなかった。初めてそのために、自分のプレイを反省させられたのは、大学二年の時に、関東学生、東日本、全日本学生と三冠王になって挑んだオールジャパンで、当時高校二位の旧姓盛野君（現在高岡市役所の河村選手）に負けてしまったんだ。これにはマイッタね。しかしこの敗戦が、今日までやってこれたいい薬になったように思う。

大学の一年先輩である秋山さんにも大きな影響を受けた。僕が三年の時、オールジャパンに勝った秋山さんが、全英で二位になったんだ。これには驚いたね。と同時に「それならオレ達にも！」と思ったよ。でもそれから帰って来た秋山さんにはいくらやっても勝てないんだ。次のオールジャパンまで、まるっきり勝てないんだ。だから試合で勝った時は、正直嬉しかったね。「全英二位の人に勝ったんだ」と言うことと、「これで全英に行ける」と言うことで、飛び上って喜んだよ。結局は下杯の合宿にひっかかって行けなかったんだけど

――小島さんと言うと、秋山さんの名がすぐ頭に浮ぶほど、長い間覇を競い合い、また一緒にコンビを組んでプレイされて来た訳ですが

小島　うん、秋山さんは今までの日本が生んだ、最高のシングルスプレイヤーではないかな。一日一試合で試合をしたら、現在でも秋山さんに勝てるのはいないんじゃないだろうか。居るとすれば、調子のいい時の銭谷のような攻撃力のある選手だろう。甲府へ引っ込んで練習に恵まれないため、最近はいい成績を残してはいないが……

――今回の小島の敗北を、一般紙などでは既に〝小島の時代は終った〟とか〝銭谷時代の幕明け〟と言った表現で報道していますが……

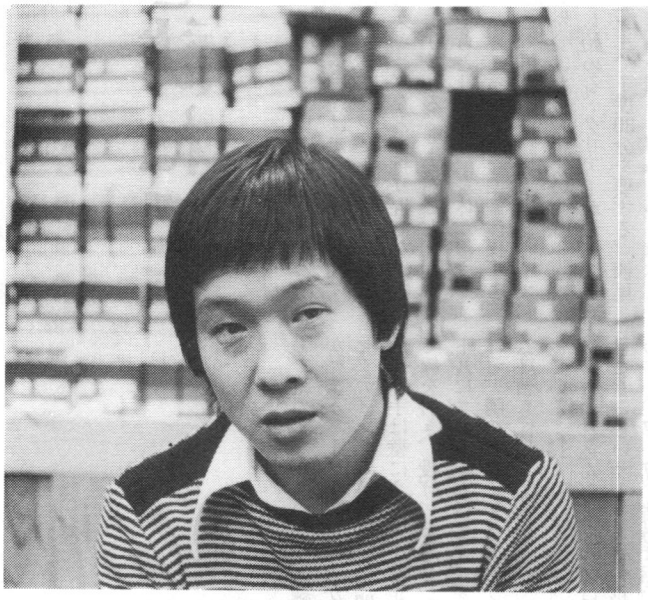
小島　それについては、何とも思っていない。過去にもそんなことは何度も言われたし、気にしても始まらないからね。逆に刺激になって、いい面もある。銭谷自身も言っていたが、オールジャパンではまだ一度も銭谷には負けていないからね。彼と戦うまでは、簡単にこのままでは引きさがれないよ。「もう一度やってやる」と言う気持だ。それが銭谷や土田君、若手にとってもレベルアップにつながればいいと思っている。

兎に角、来年度一年間、やりますよ。見ていて下さい

最後はやはり〝ガッツ小島〟の異名通り、秘めたる闘志を押え切れない口調で、力強く語ってくれました。

一九七七年度も、素晴しい〝ガッツプレー〟の小島一平さんの姿を見ることが出来るでしょう。

もう一度やってやる!!



「反省してます」めったに見られぬこの表情

――特別企画――

サントリーチームを訪ねて



今年度のバドミントン界の大きなハイライトは、何と言っても〝サントリーチーム〟の誕生だったでしょう。そして部創設三ヵ月にして早くも全日本実業団のタイトルを手中に収め、上半期の話題を独占した感さえありました。

今はオールジャパンもすでに終わり、一九七六年も暮れようとする十二月二十二日、大阪はみのう丘陵の中腹にあるサントリーの体育館を訪れ、練習を拝見することも出来、座談会にも心よく協力いただきましたので、ここに大きく取り上げてみました。

午後3時ジャスト練習開始。平常は2時からだそうだが、この日はバスが遅れたとかで1時間遅い。軽い注意を山本監督に受けて、選手達はすぐに走り出す。全部で8面を楽にとれる体育館の、半分が男子バレー、半分がバドミントンチームの持ち場だ。つまり4面のコートの周囲を選手達は走る。約10分間、バックに走ったり、横ばいや、スキップなどを折り混ぜながら走り続ける。どの顔にも、うっすらと汗が光る。身体が温まったところで入念な準備体操。ここで再び山本監督のアドバイスを受けた後、いよいよ基本を打ち始める。クリアーからヘアピンまで丁度30分を要する。西尾選手の相手を務めるのは山本監督だ。体育館を半分に仕切ったネットの向う側では、バレーチームがミニサッカーに興じている。基本練習が終ると、俗に〝ニーイチ〟と呼んでいる2対1のクリアー練習。オールレシーヴ。それぞれ一人10分をこなす。欠点を見直しながら、山本監督の細かな忠告に耳を傾けながら、次第に熱が入ってくる。人数の関係で身体の空いた選手は、自ら率先して自分の課題に取組む。5時を少し回った頃、秋本(八)・徳田組対谷・秋本(幸)組のダブルスのゲーム練習が始まる。1ゲームだけだが、セッティングの熱戦だ。その間、西尾選手は壁にネットを想定して線を引き、投げては返るシャトルにスピンをかける工夫を続ける。隣のバレーチームのゲーム練習も佳境。大古が跳び、打っている。13―13でセッティングにもつれ込んだダブルスは、目まぐるしいサービス権の移動のすえ、17―17。結局は相手のゲームポイントを二度切り抜けた谷・秋本(幸)組の勝ちで幕。それまで一心不乱に続けていた西尾選手の顔にも、何やらその甲斐があったという表情が見える。

最後は15分間に、この体育館半面の周囲を、何周走れるかという競走らしい。各自のペースで走る。まずスタートから先頭に立つのは秋本(八)選手、次に妹の幸子選手。徳田選手は大きく遅れて、どうやらマイペースを守っている様子。谷選手はヒ

ザをかばっているような走り振り。顔がゆがむ。後半になると、もう誰が何周走っているのか見ている者には分らない。スタートの早かった選手も、そろそろスピードが落ちてくる。逆に満を持していた徳田選手が、徐々にスピードをアップする。性格の違いが現われるような、興味深い競走だった。

整理体操を終えたのが丁度6時。毎日のこの練習量が、何を生み出して行くか、注目してみたいと言うのが実感だった。

（以下、敬称略）

――まず創設時のいきさつ、エピソードなどをまず監督さんの方からお願いします

山本　サントリーチームの構想がまとまったのは、去年のはじめなんです。それがユーバー杯の合宿やユーバー杯が終る頃には筋が固まっていて、自分には六月ユーバー杯から帰って来てから正式にお話があったので、ユーバー杯のマネージャーというチャンスを与えてくれたので、もう一度バドミントンに賭けてみたいということでお引受けしたんです。

もうその頃にはメンバーの構想も決っていて、最初は六人の予定だったんですが、個人的な事情で一人来れなくなったので、五人は他の新入社員と同じように十一月に面接試験を受けたりして内定した訳です。練習を正式に始めたのは四月になってからです。新入社員としての研修などもほかの人達と同じようにやって来た訳です



山本監督

「離れられない」秋本姉妹

――選手の方はどうでしたか

西尾　私はバドミントンを始めてからずっと秋本さん達とは一緒なんです。大学で徳田さんや秋本さんと別れたんですが、縁があるというのか、離れられないというか……、まさか同じ所に就職するとは思いませんでした。その中に谷さんが入って来たのもまた縁というか、何か繋りがあるような気がします

秋本(幸)　私らは姉妹（八代美が姉）ですから、朝起きてから夜寝る時まで、家に帰ってもカーテンで仕切った隣の部屋で、ずーっと一緒なんです（笑い）

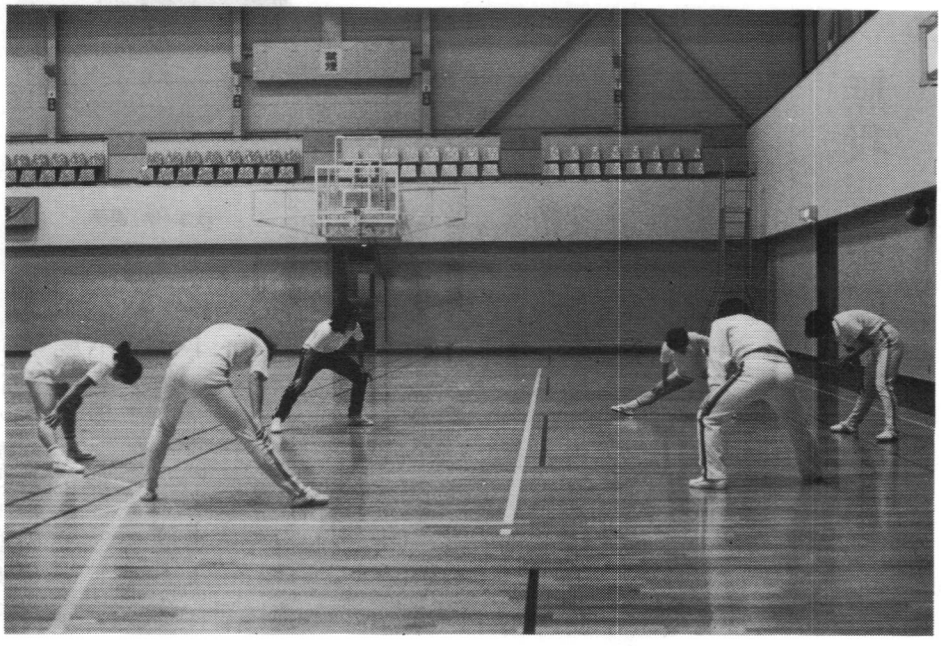
山本　別れているのは午前中の仕事の時だけだな

秋本(八)　その時はやはり寂しいです（爆笑）

――皆さんの環境は社会人としては群を抜いて良い方だと思うんですが、学生の時と内容を比較して、いかがですか

徳田　私が一番感じるのは、今までは四条畷だったんですが、コートが三面しかないんです。その中で中学・高校・大学と練習しているんでゲーム練習が主になってしまうんです。だから自分の欠点を直したいなと思っていても、そこまで時間の余裕がないんです。でもここへ来たら人数の割にコートはあるし、時間の余裕もあるし、欠点を直すことが出来るし、そういう点はすごくいいと思います。ただ五人しか人数がいないので馴合いになってしまっては……と思います

――では、今年一番強く印象に残った試合、鮮明に記憶に残っている試合の話をうかがいたいのですが



西尾　この前のオールジャパンで池田美加さんとベスト8入りで当った時、それまでずーっと身体もこわしていたし、どんどん自分の力が低下もしていたし、名前が消えていくといっては変ですが自分でも半ば諦めていた時の試合だったので、勝ちたいという気持より、一生懸命やりたいと思って、無我夢中でやって勝てたので強く印象に残っています。それが内容に関しては殆んど憶えていないんです

秋本(八)　私はやっぱり六月の実業団の団体戦で、西尾さんが話した同じ池田美加さんに勝つことが出来て、デビュー戦だったし大きな自信になりました。ところがそれとは反対に、今回のオールジャパンでは渡辺多喜子さんに敗けてしまいました。苦い経験になりました。今度は石崎さんに勝ってベスト8には入ろうと目標を決めていたのでショックでした。今では気持の整理もついたので言えますが、兎に角、早く立直ってコツコツ努力するよりほかにないと思うんです。何時までも過去の勝利や、海外遠征のことに溺れていては、とり残されると思うんです。幾らでも若い選手が追い上げて来ているんだから、やらなくては、という気持があります。その二つが印象に残っている試合です

谷　私は実業団の準決勝で、湯木・池田組に簡単に負けたんですが、社会人では準決で、今度は勝つことが出来たんですが、それで満足してしまって、決勝の栂野尾・古谷組に一応はファイナルだったんですが、内容的には一方的に負けて、せっかく優勝のチャンスだったのにと悔まれます。そのあとにあった国体でも香川県の田所・石原組にあっさり負けてしまって……この二つが心残りな試合です

秋本(幸)　今年、一番気持よく出来た試合は、社会人の準決勝で湯木・池田組と当った試合です。自分のやりたいプレーが出来たという意味で、いい意味で心に残っています。それとは逆に反省することが多かった試合という意味で、国体で田所・石原組に負けた試合です。それと、オールジャパンの準決で、栂野尾・植野組と対戦する前から、自分達の弱点をついて来るということが判っていたにもかかわらず、その対策がなされていなかった、脱皮できなかったのが苦い経験でした。

シングルスは練習中の方が何時も調子が良くて、試合になるとやりたいことが出来なくて…。でも公式戦で一つ一つ勝っていかなければキャリアにならないと思うんです。十年やっているからとか、十五年やっているからとかじゃなくて、キャリアってそういうふうなものだと思うんです。練習中と試合に同じ力を出せて、一つ一つ勝っていくことによってキャリアを積んでいこうと思ってます

徳田　印象に残っているというよりも、勝って「ああ良かったなあ」と思ったのは、実業団の団体決勝のシングルスで栂野尾さんにファイナルで勝った時です。それはただ嬉しいというよりも、〝責任を果せてよかった〟という嬉しさでした。

でも何にせよ、オールジャパンで近藤小織さんに負けたのが一番焼き付いてます。その時に感じたのは、相手が強いとかいうよりも、勝負の世界は厳しいもんだということを、つくづく感じたんです。強行なスケジュールの中で、如何にベストコンディションにもっていくことが難しいかをつくづく感じたんです。やっぱり湯木さんのようになっていくには、そういうことが一番大切だと思うんです。どんな試合でもベストコンディションで臨めるという時点で、湯木さんとはもう差がついていると思うんです。だから、どんな試合に対しても、勝負の世界は厳しいということを肝に銘じてやっていきたいものです

秋本(幸)　言い忘れたんですが、私の試合だけじゃなくて、実業団の団体、準決勝、決勝の第一ダブルスから姉の第三シングルスまでの全ての試合は、今でも鮮明に思い出せます。あの興奮、感激は忘れられません。また来年も必ず優勝カップを保持したいと思っています



秋本(八)選手



秋本(幸)選手

無我夢中になりたい

――現在はどこを重点的に練習しているのですか。皆さんのプレイの目標といったものに関連すると思われますので、一緒にお聞かせ願います

山本　オールジャパンが終って皆んなでミーティングをして、これからやって行きたいのは、まず走り込むこと。それに韓国のチームが見せたようなクリア

ー力。追い込まれても跳ね返すクリアー力を皆んなも強く印象に残っているようだし、この二点に今は重点を置いて練習しています

――共通したその内容とは別に、何かほかにあったら、それも聞かせて下さい

山本 それにさっき徳田が言っていたように、一つ一つの試合にベストを尽せる精神力。これが大きな課題ですね

徳田 精神的な面では今言われたように、一試合一試合に自分の持っている力を出し尽すことが出来るか。そういう試合運びが出来るかどうかが、これからどれだけの選手になれるかの別れ道だと思うので、そこを考えてやっていきたいと思います。技術面では、私はシングルスプレイヤーだと思うので、クリヤーに特に気を付けています。なるべくなら全部オーバーヘッドで回り込むようにしたいのですが、どうしてもバックハンドでとらなければならない場合があるし、そのバックハンドの処理をもっと上手くしていきたいと思っています

西尾 私の場合は、ありとあらゆるところが駄目だと思っています。だから練習の時に駄目なところを、納得がゆくまで、途中で妥協しないでやりたいと思っています。常に頭の中に自分の理想とする姿を置いてやっていこうと思っています。あとはやはり、コートの中に入ったら、邪念を捨てて、無我夢中になれるようにと思っています

秋本(八) 今はまず持久力をつけることと、ハイクリアーのコントロール。それとドロップとカットの区別です。ダブルスでは、スマッシュ、プッシュ、ドライヴとスマッシュの切り返しの四点です。あとは練習のみだと思うんです。自分がよく練習したなと思えば、それは試合にも現れると思うから

谷 シングルスがまだまだ駄目なので、精神的にも不安定なせいでしょうが、力を入れたいと思います。ベストコンディションで試合に臨めるようにもしたい。それは精神的にも影響すると思います。自信があれば、いろいろな球が生きてくると思うので、自信を付けるための基本練習をしっかりやるつもりです

秋本(幸) 私の場合、オールジャパンに出てくる人達の中でも身長がすごく低い方なんです。だから現在、誰でもが口にする言葉にある〝より高く、より早く〟ということでも、実際にとても損をすると思うんです。人と同じ考え方〝より高く、より早く〟だけではいけないんじゃないか、体力のハンディを克服できる考え方、バドミントンに対する姿勢に自分なりのものを……（途中しばし絶句、語尾が濁りがちになる。そこにまだ判然としない悩みがうかがえる）

コンディション作りにしても、今腕の筋力が落ちているとか、自分自身にしか判らないことが多い訳だから、常に自分自身を識る必要があるし、そういう努力をしなければいけないし、また大変難しいけれど、そうなりたいと思っています（話をまとめるのに苦労の体ありあり。聞いてる人はお菓子をつまみながらただニヤニヤ）



谷選手

バレーミントン!!?

――海外遠征に行かれた方も居られるので、その時のお話をひとつ

徳田 まず驚かされたのは、練習を見ていると、中国やインドネシアの選手は、兎に角よくジャンプする。それとネットのスピン。この二つは今でも瞼の裏に焼き付いています。男子のバレーと同じようにジャンプしてスマッシュを打つ。何と表現したらいいのか……。バレーとバドミントンをミックスさせて、バレーミントン（笑い）というものを作ってもいいような、そんな気持さえ抱きました。シャトルがよく飛ぶせいもありましたが、男子のシングルスにおいても、最初からダブルスのバックサービスから入るんです。それもショート、ドリヴン・サービスだけしか使えないんです。まるでハエタタキで打っているかのようなスピードで、バレーのアタックのように打ってくるんです。女子も中国の選手などは、男子と同じようなプレイをしてました。それは、自分も同じことをしなければいけないのかな（笑い）と錯覚するくらい迫力がありました。反射的に身体が動いてしまうほど、自分を忘れてしまいました。それほどこのことは、強烈に心に残っています

秋本(八) 徳田さんがプレイのことは全部言ってくれたので、私はその他に気付いた点を少し



徳田選手

言います。

中国にしろインド遠征にしろ何しろ強行なスケジュールの中で勝ち抜いていくには、良い意味での〝ずるさ〟を身に付けなければ、と痛切に感じました。それにどんな環境にあっても自分のプレイを見失わないで、本当の自分のプレイをしなければいけないと思いました。外国に行っても、自分自身のプレイが出せる能力を身に付けることが、大事なことだな、と感じました

山本　スピンをかけることと、ジャンプすること。この二つは本当に脅威でした。女子も男子のプレイに近づいているし、我我も、一歩づつそれに近づかなければと思いました。写真なども撮ってあるので、これからの研究材料にして、大いに参考にしようと思っています

――それでは最後に、来年の抱負を一言ずつ、なるべく具体的な表現でお願いします



西尾選手

西尾　今はただ、どんな試合でもベストを尽す、それしかありません

徳田　私はやっぱり全日本をとりたい。バドミントンプレイヤーとして、それが最高の望みであると思うんです。全日本をとって全英に行く。やはりこれが夢ですね

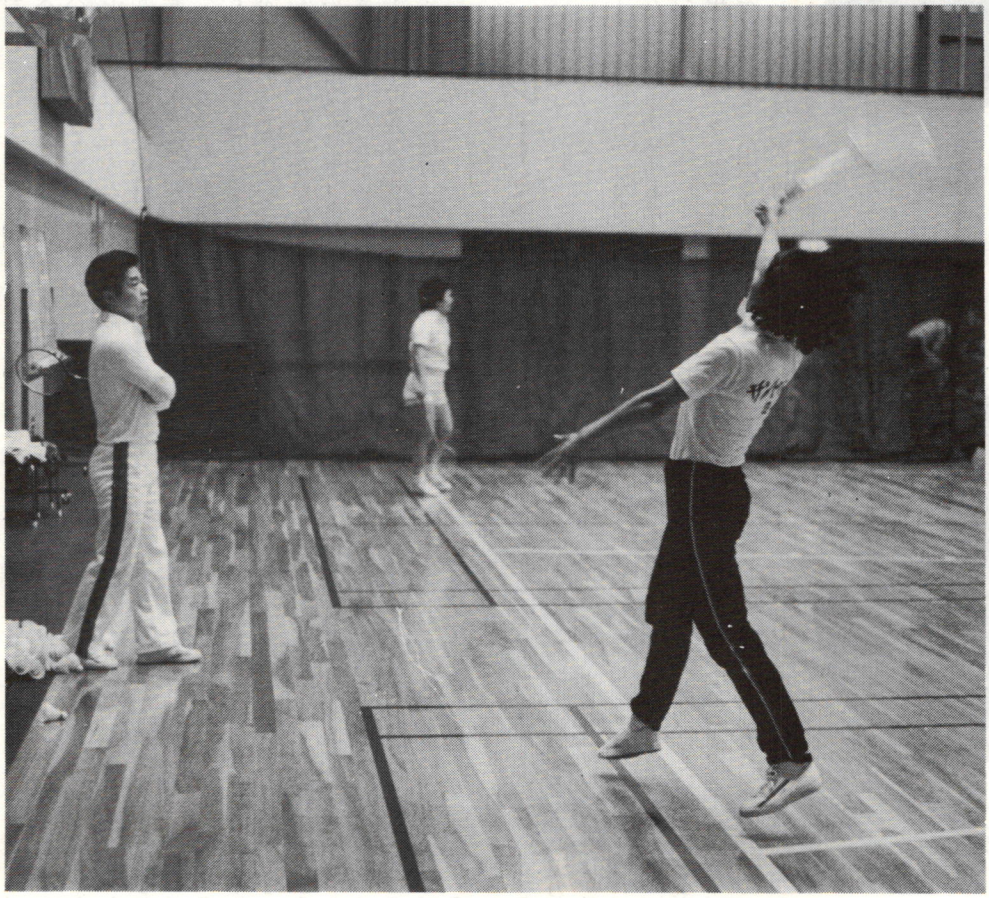
秋本(幸)　私の場合は、それは全日本の単複を共に優勝したいのは山々ですが、どちらかと言えば、ダブルスの方が近道だと思うんです。今年負けた時点で、あと365日あるから頑張ろうと思ったんです。その気持を最後の一日まで忘れないでやって行こうと思います

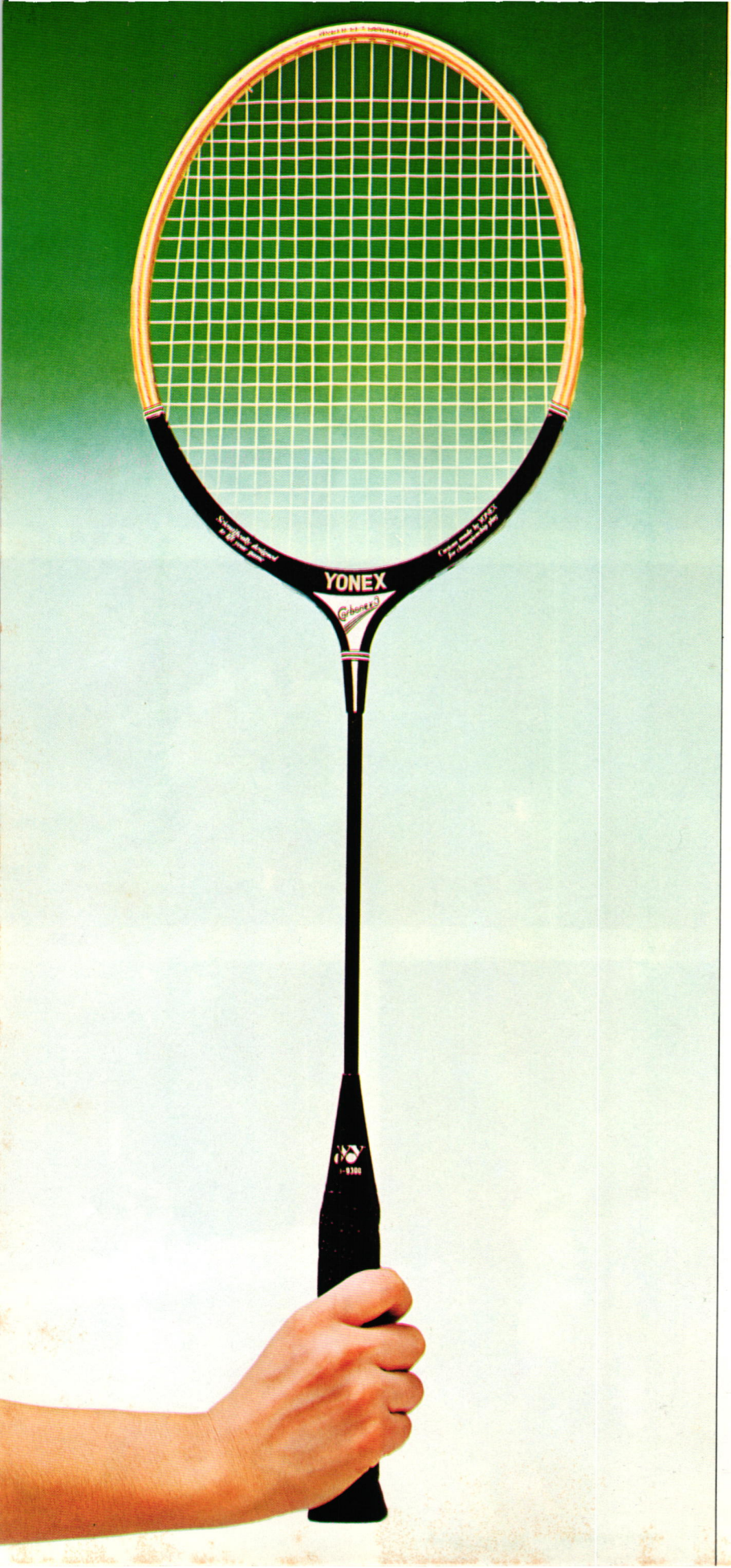
谷　どんな試合でもいいから、優勝の経験を一つ一つ積み重ねていきたいです。そして最後は全日本を……

秋本(八)　今は一月中にある合宿に焦点を合わせています。全日本の優勝も狙ってみたいです

山本　今誰かが言ったように一月にある全日本の合宿において、全員がメンバーに選ばれるように持って行きたいですね。近い大会では全日本総合の団体戦、日本一ということのタイトルですから是非狙ってみます

――では、お疲れのところ有難うございました。ご健闘を期待しています





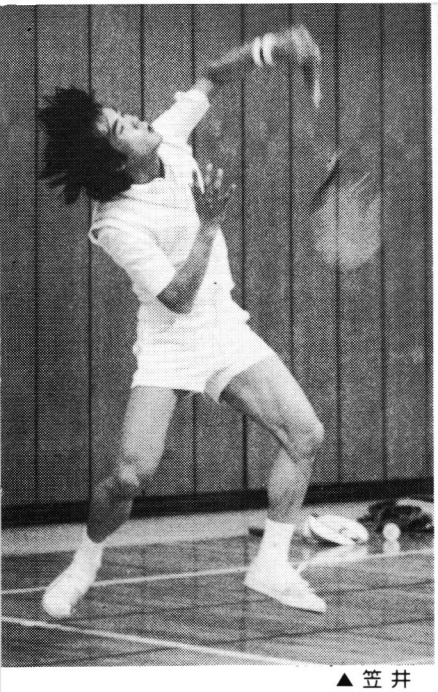
凄いのが生まれた、カーボネックススリー。

ヨネックスがまた、世界で初めてということをやってのけました。それが、初のカーボンシャフトをもつラケット、カーボネックススリー。強烈な反発力。そしてすべてのストロークにぴたりと適合するというたぐいまれな特性は、まさにカーボンならではのもの。いわばオールマイティなラケットといえましょう。世界のトッププレイヤーが力から技へそしてまた力へと移ってきた今、その変化に応えられるのはこれ、カーボネックススリー。

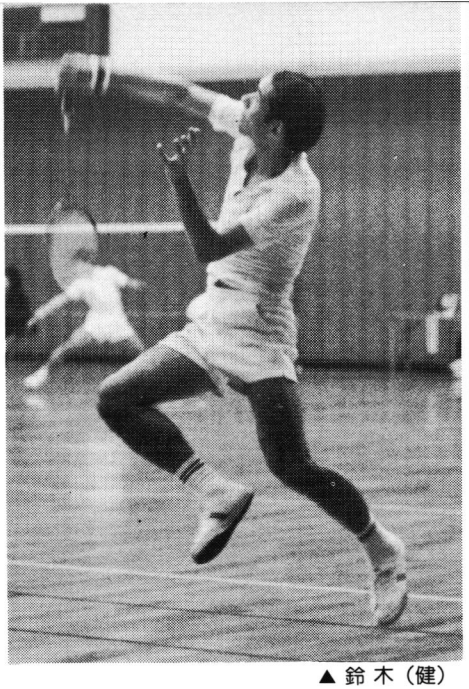
B-9300 Carbonex3

●カーボネックス スリー《新製品》……￥7,500

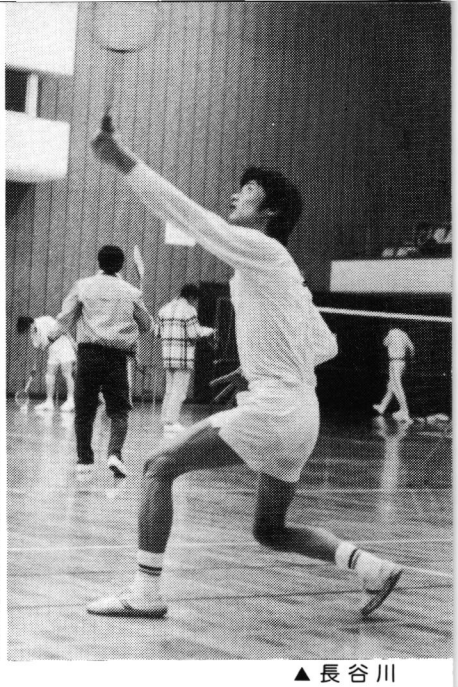
YONEX



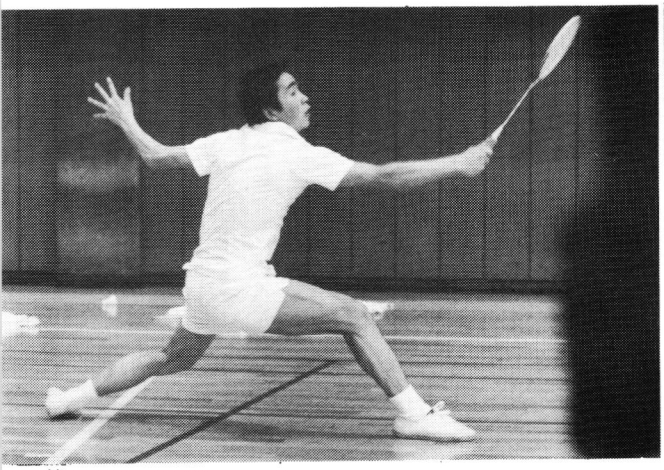
▲笠井



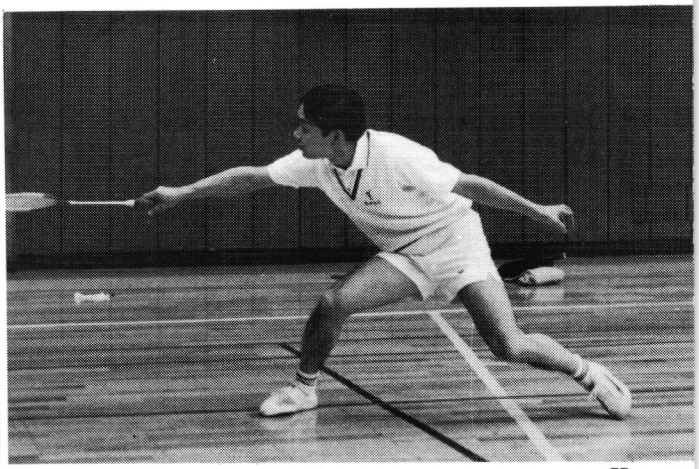
▲鈴木（健）



▲長谷川



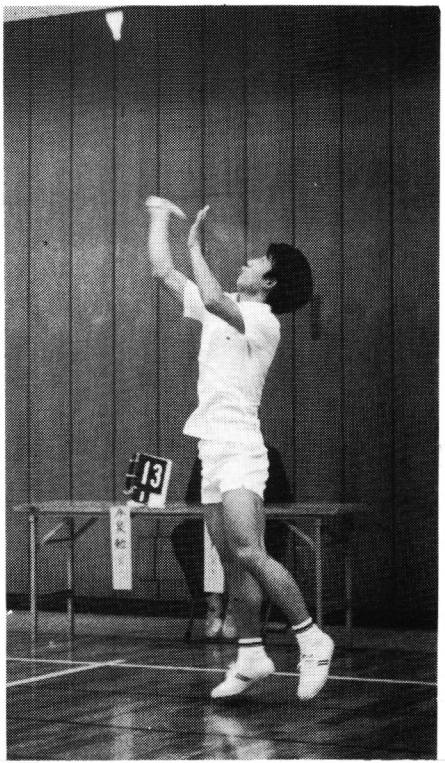
▲管



▲関

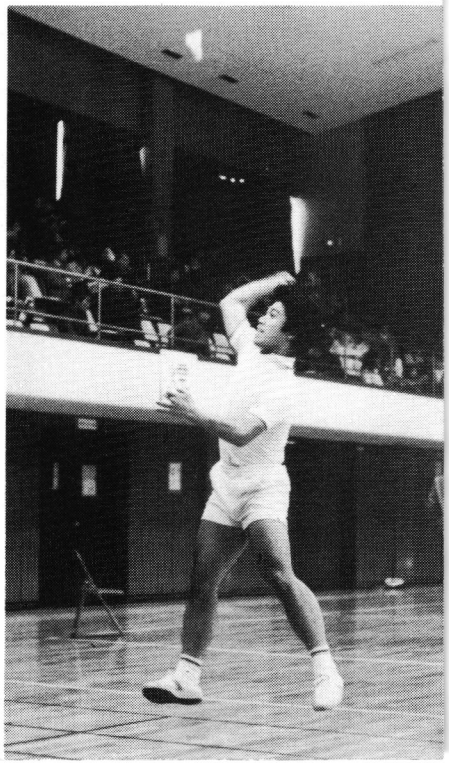


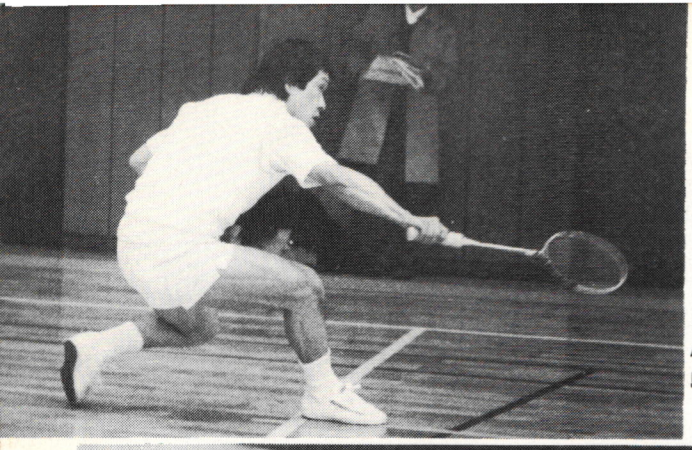
◀牧野



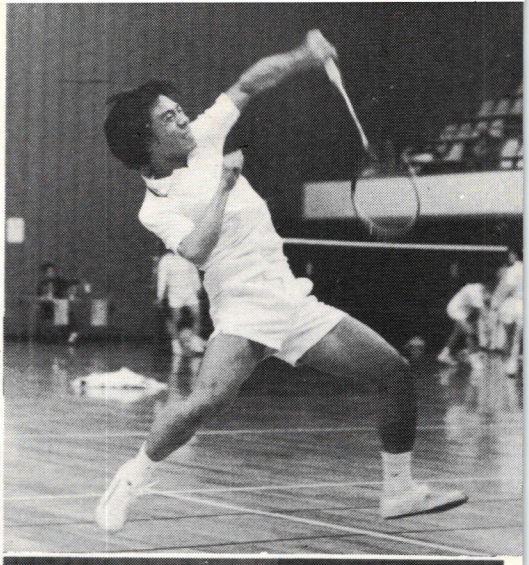
▶村元

◀原

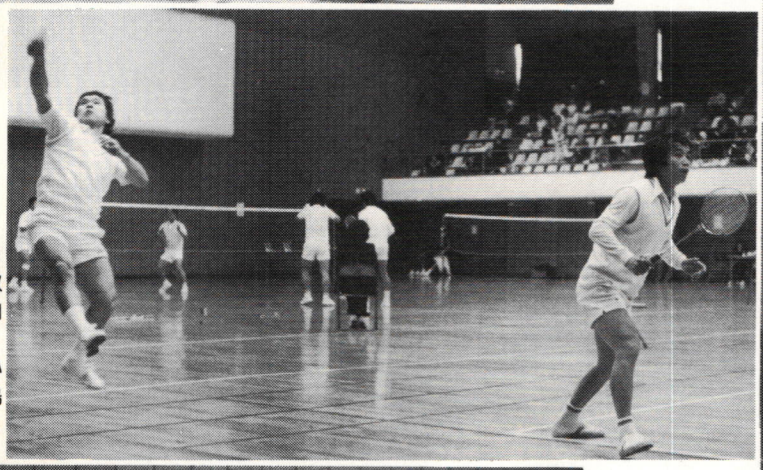




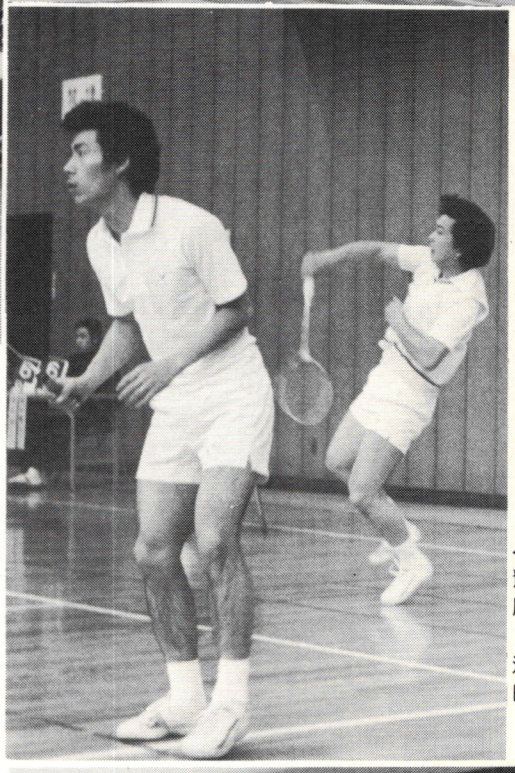
◀小島



▶今泉

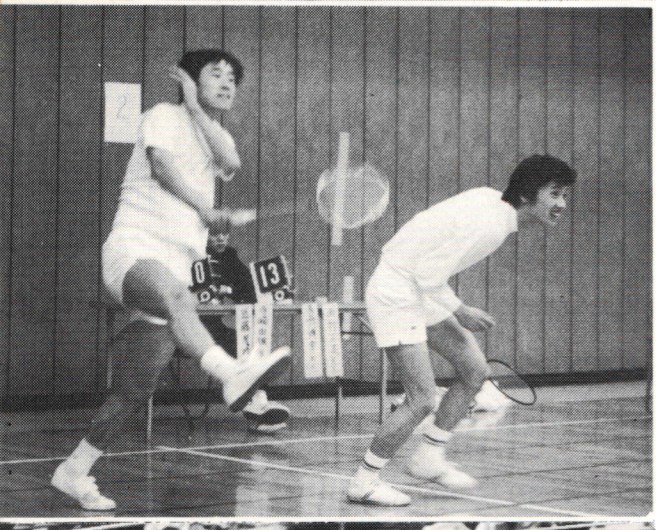


▶秋山・小島

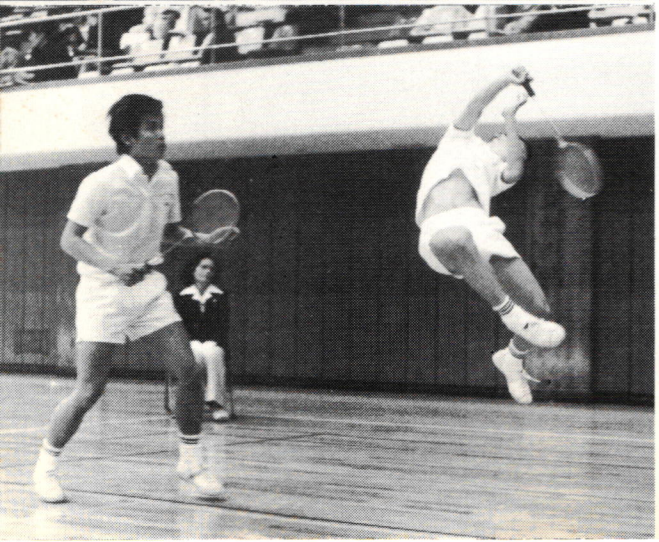


◀鷲尾・池田

＊オールジャパン'76



◀西村・長谷川



▶梶田・宮崎



◀上原・平野

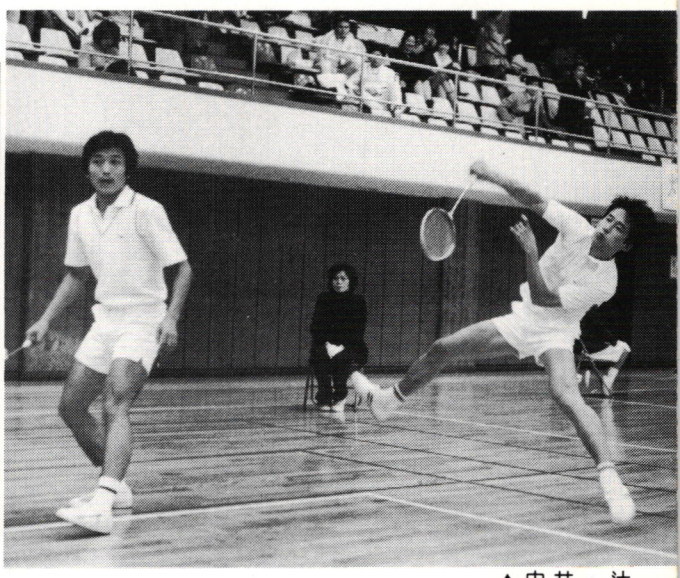




◀舟山・遠藤（昭）



▲関・今井



▲中井・辻



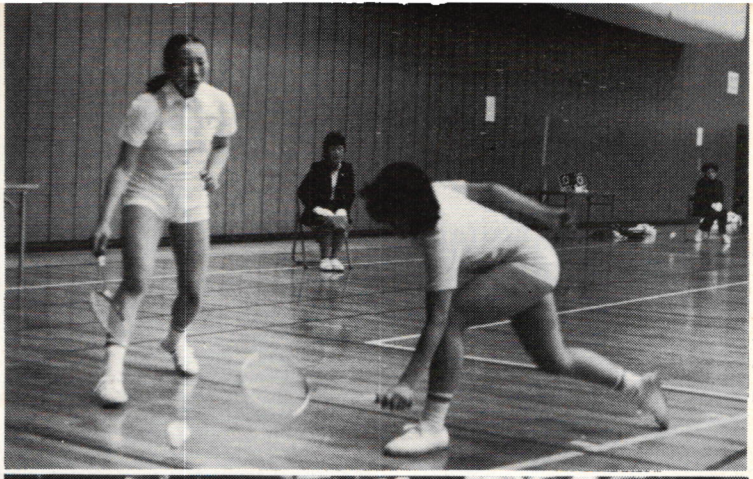
◀大場・村田



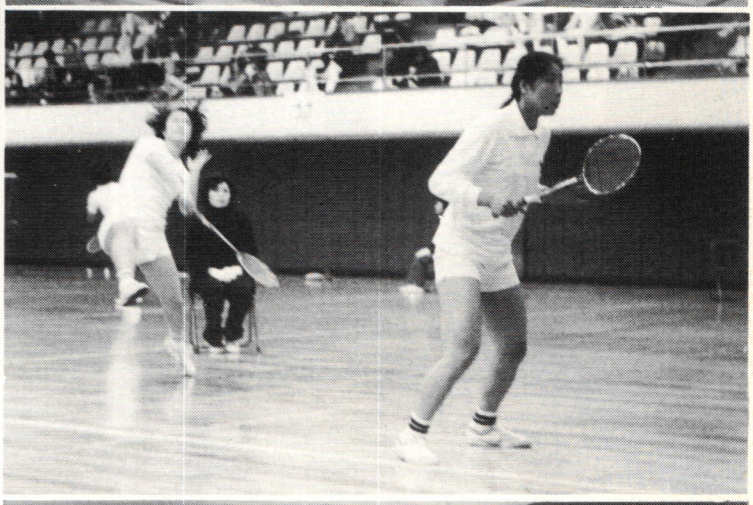
▲堀川・陣内



▲近藤・渡辺



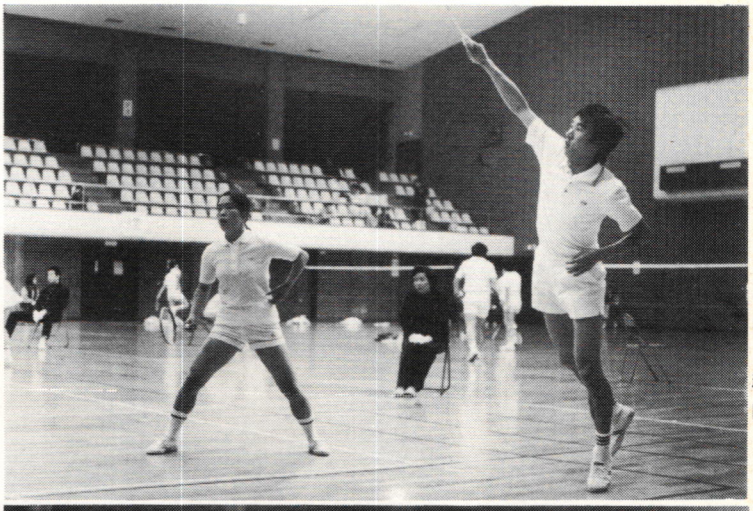
◀徳永・喜多川



◀宋・朴



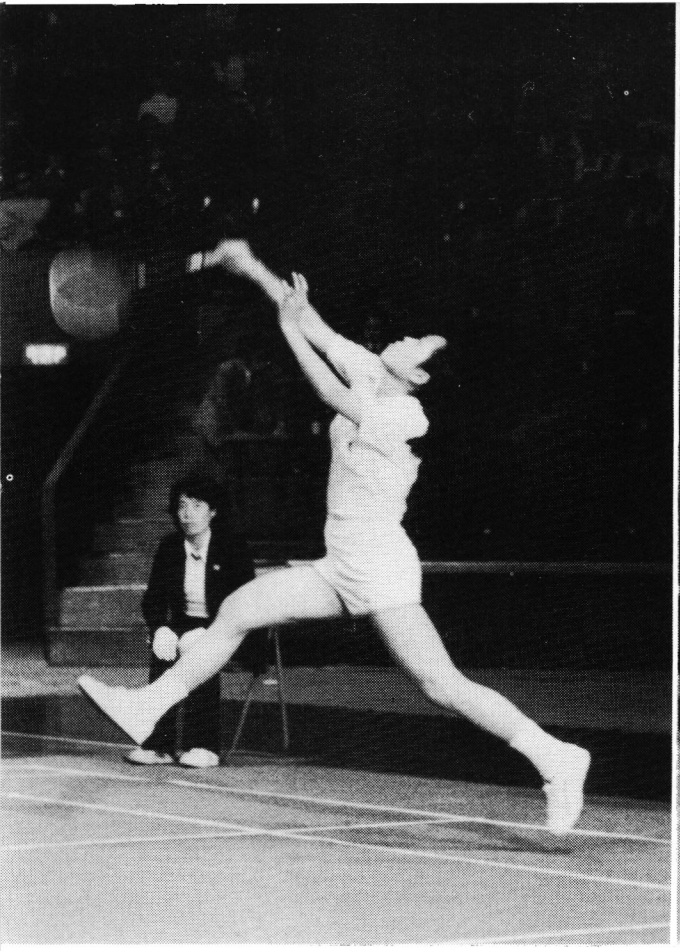
◀古谷



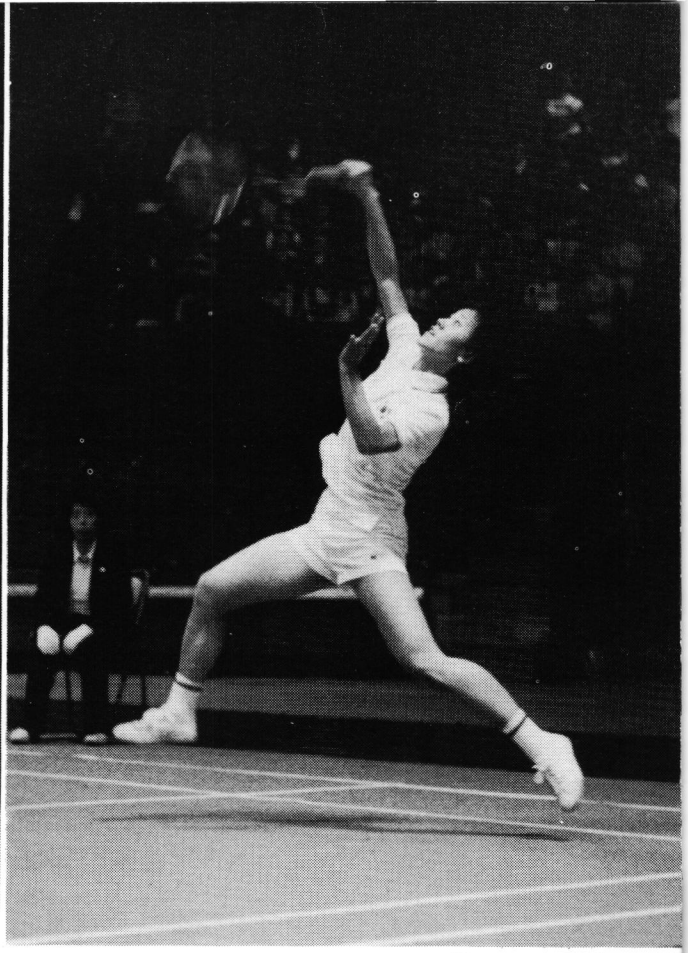
◀今井・秋山



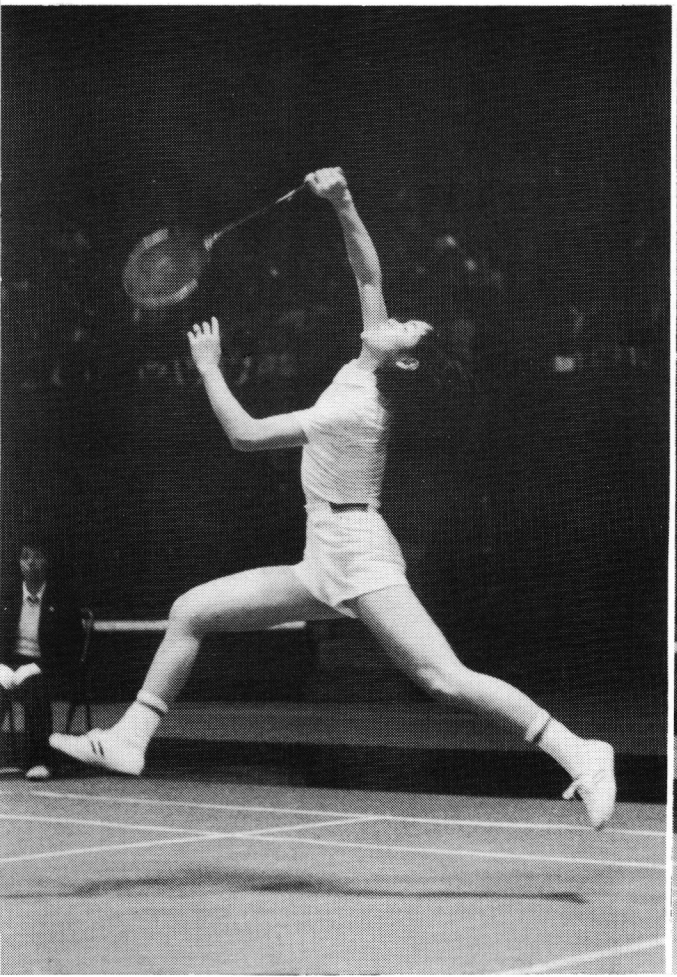
◀池田・石崎

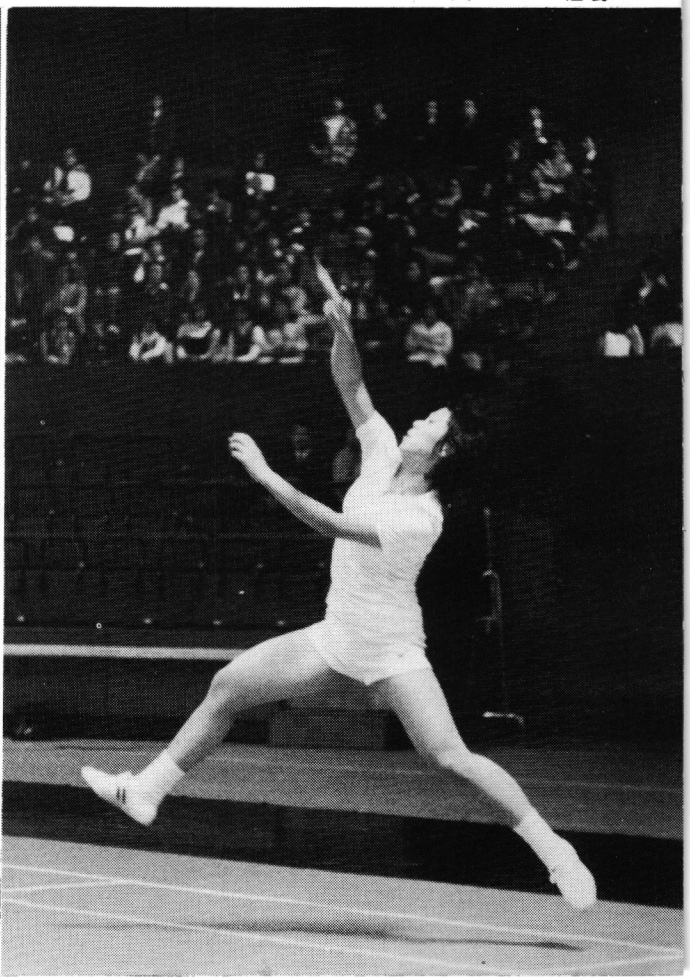


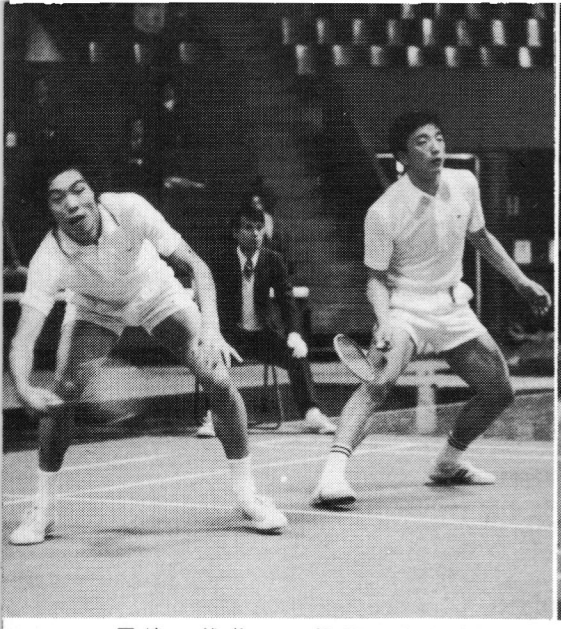
▲湯木　▼栂野尾



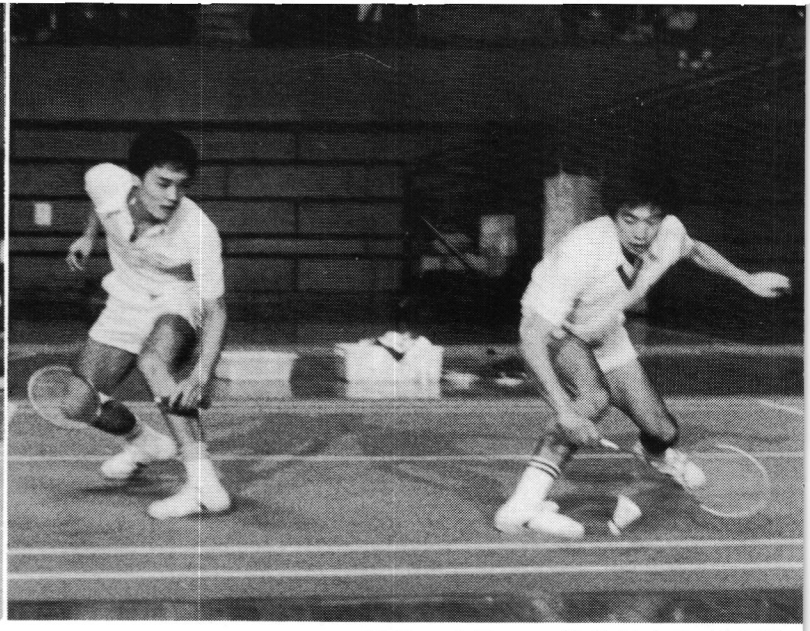
▲呉　▼植野



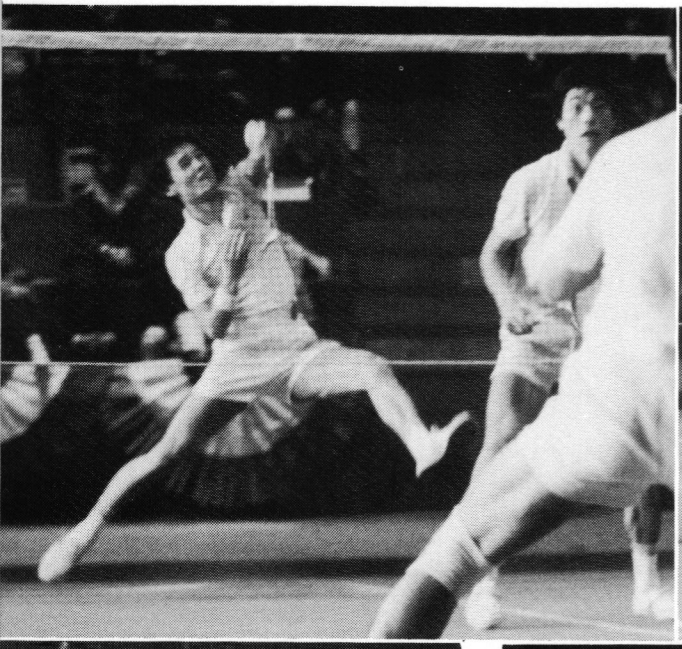


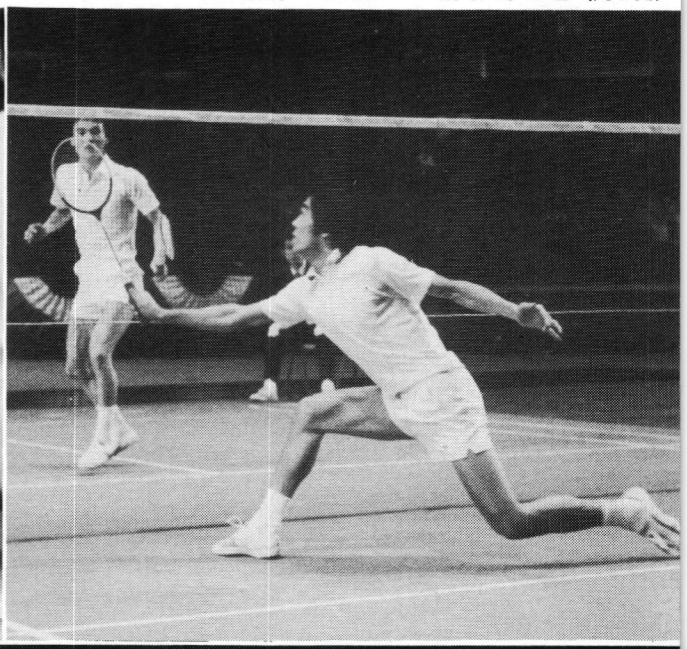


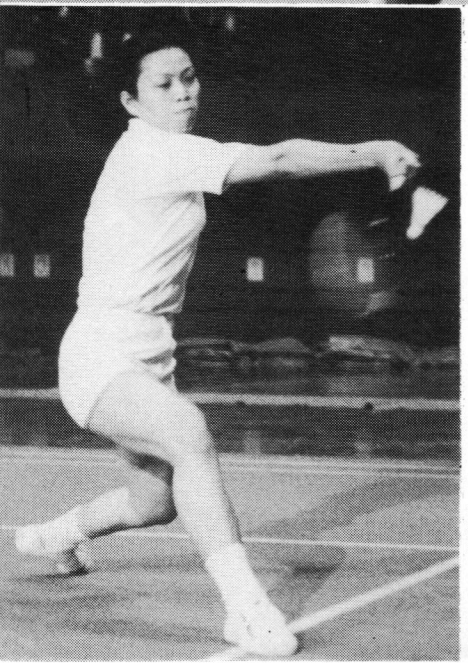
▲尾崎・銭谷　▼飯野・土田（向う側）



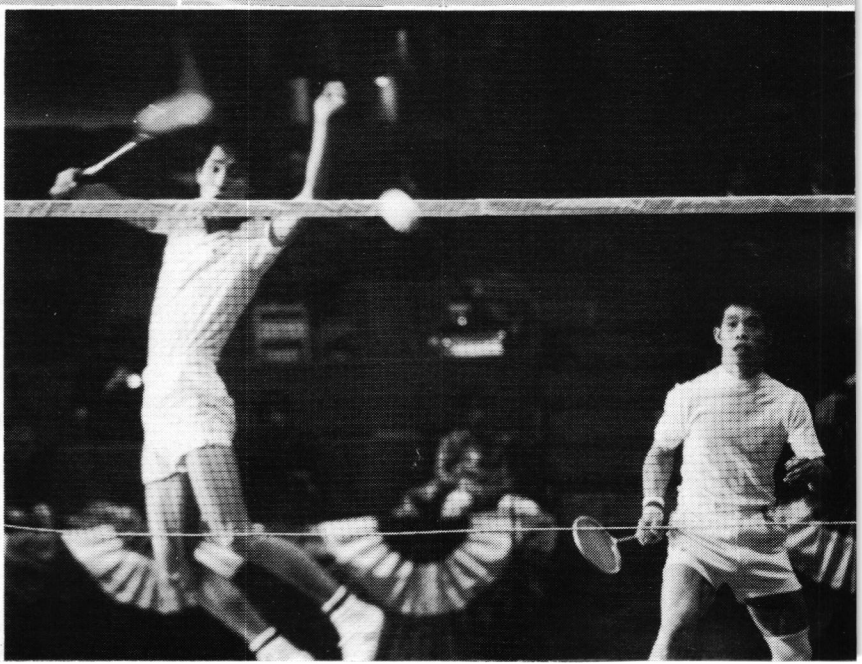
▲飯野・土田　▼銭谷対土田（向う側）







▶池田・栂野尾　◀湯木

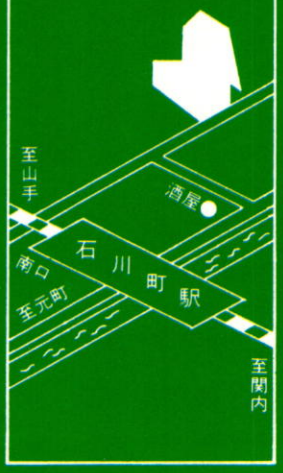


ラケットショップ元町

●横浜店

☎045-651-2020

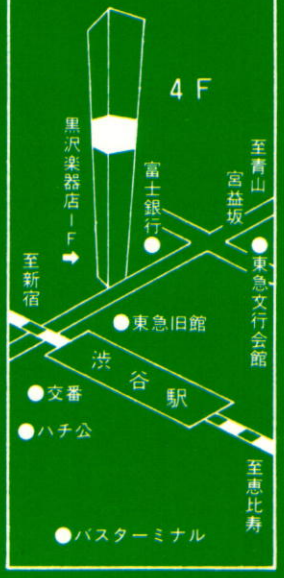
バドミントン
テニス
プロショップ

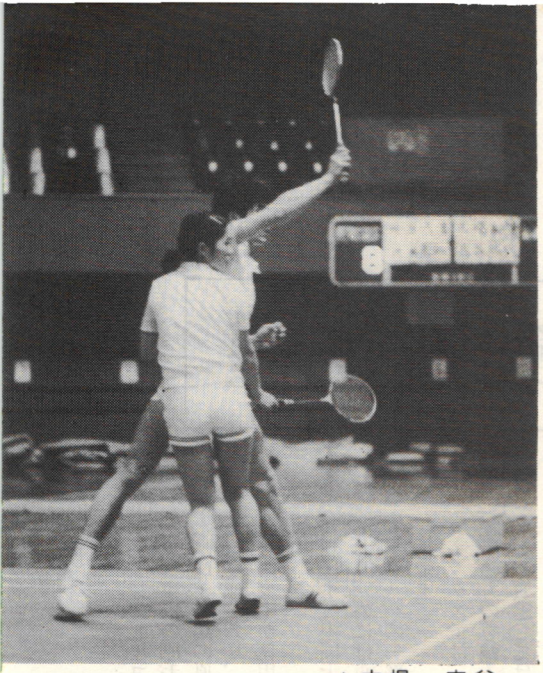


●渋谷店

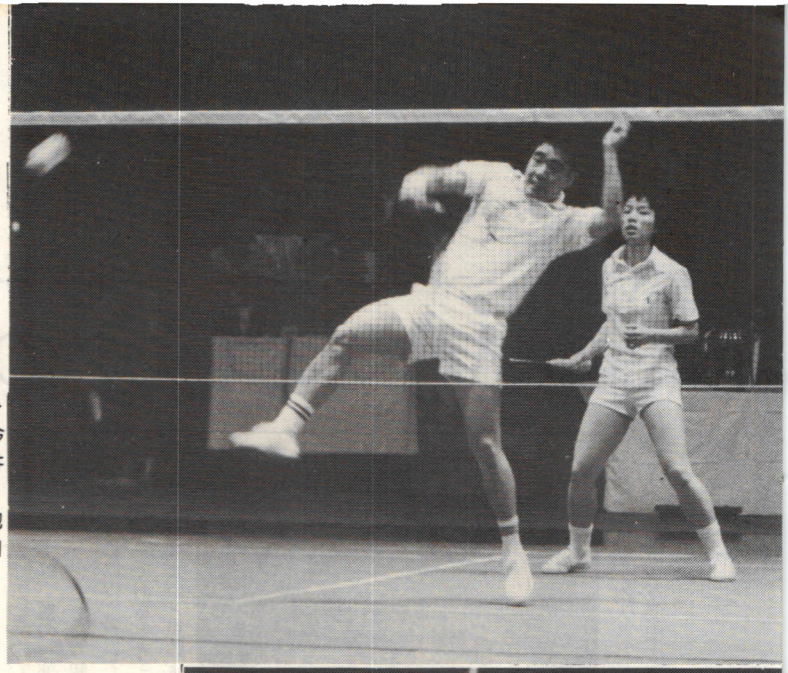
☎03-400-7390

世界で初めての
バドミントン
プロショップ



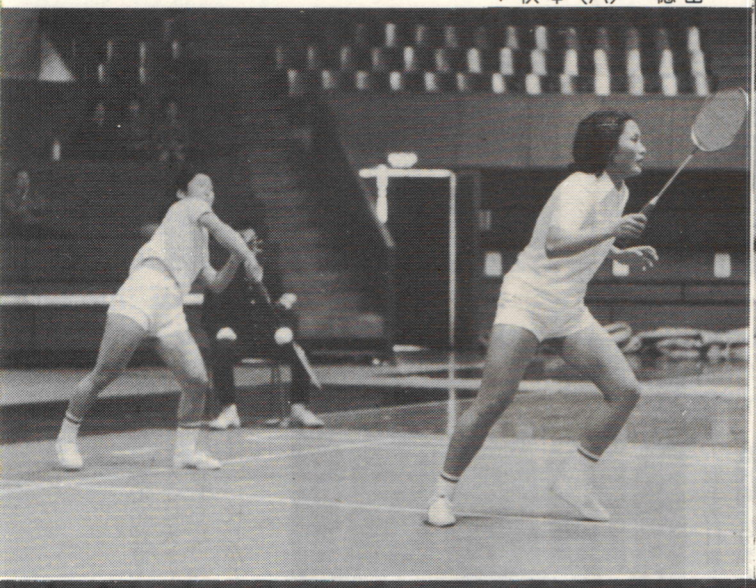


▲大場・古谷



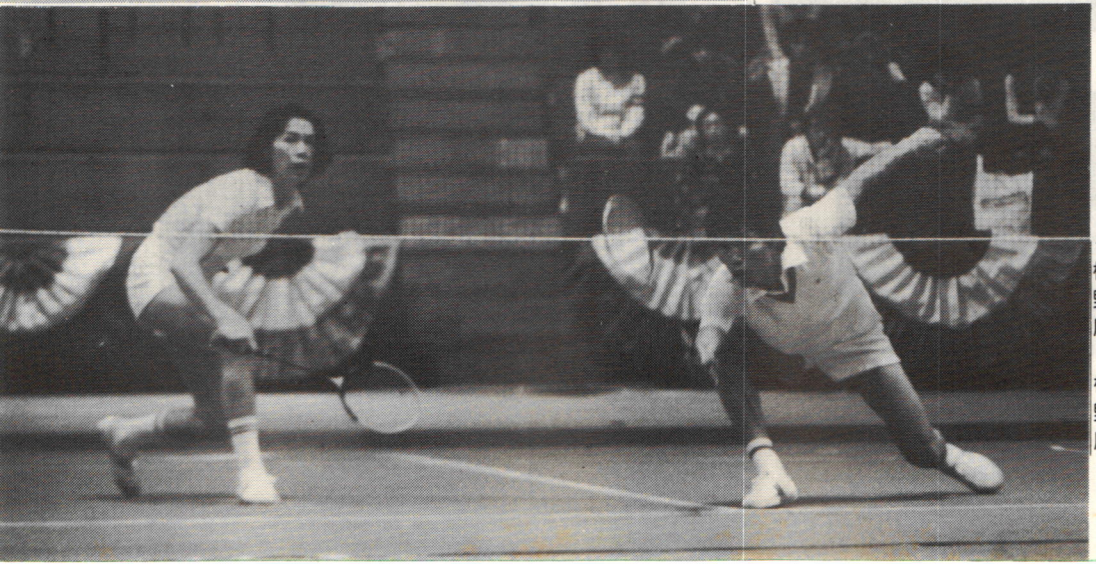
▶今井・池田

▼秋本（八）・徳田





▲堺・湯木



◀柵野尾・柵野尾

ごくろ～さまです

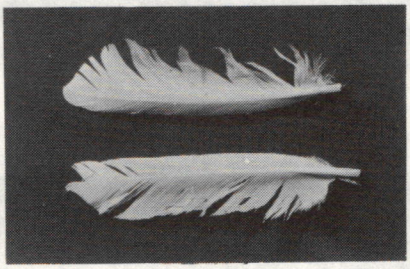
シャトルコックの製造工程

(1)原毛―シャトルコックには、鵞鳥、家鴨の原毛を使用した水鳥球と、鶏の原毛を使用した陸鳥球があり、一般的には鵞鳥の羽毛が使用されております。

鵞鳥は主に中国大陸に生育しており、外には東南アジア・ヨーロッパの一部などにも見られます。

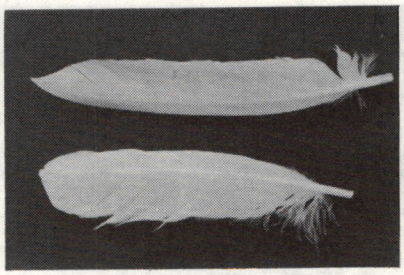
ヨネックスでは、100%中国大陸産のものを輸入しており、羽毛の質としては、最高級のものであります。

シャトルコックに使用される羽毛は、翼の一部分だけであり、シャトル一個を生産するためには、だいたい、一羽が必要であると考えていただければよいと思います。



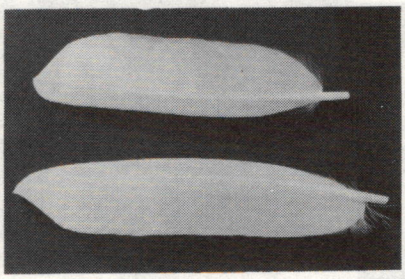
(1)原　毛

(2)洗濯―輸入された原毛は、右羽根、左羽根に区別してから、クリーニングします。



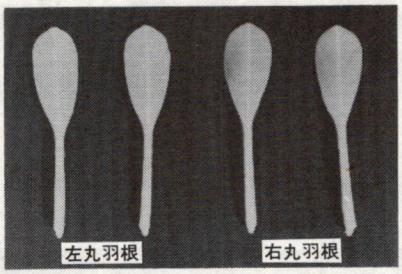
(2)洗　濯

(3)乾燥―クリーニングした羽毛を乾燥させながら原形まで、広げる作業を同時に行ないます。



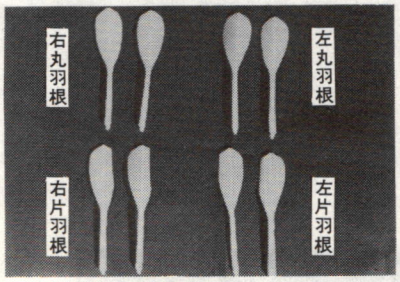
(3)乾　燥

(4)プレス―乾燥させた羽毛は、金型で同じ大きさに打ち抜かれます。羽毛には、大小さまざまなものがあるため、この作業には、細心の注意が払われます。どんなに大きくどんなに、長い羽毛でも、一つの羽毛からは、一枚しかとれません。



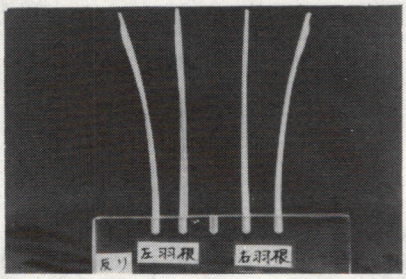
(4)プレス

(5)第一選別―羽毛の材質と形状により、数種類に分類します。



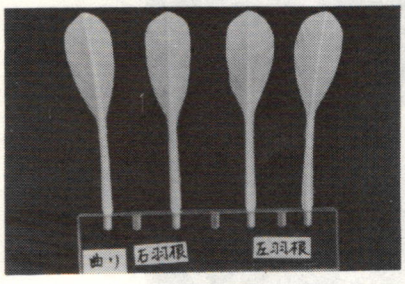
(5)第1選別

(6)第二選別―第一選別で分類された羽毛をそりの状態に依って更に数種類に分けます。



(6)第2選別

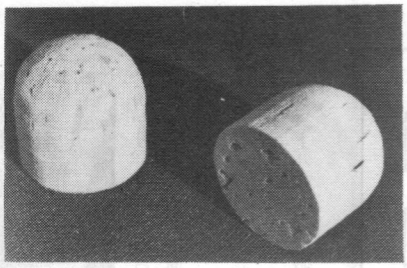
(7)第三選別―そりの状態に依って区別された羽毛を更に、曲りの状態に依って数種類に分けられます。なぜこの様な分類が必要かといいますと、羽毛は一枚ずつ形状が違うので、三つの工程を経て、同じ材質、同じそり、曲りの羽毛を揃え



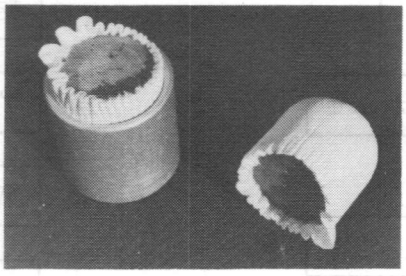
(7)第3選別

るためです。
ここで初めて、コルク部分に植込まれることになります。

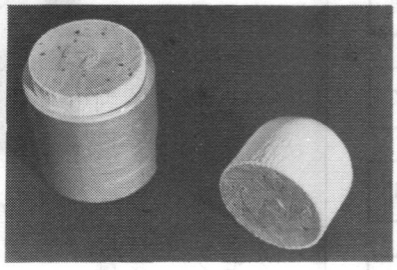
(8)コルク―コルクの主産地は、ポルトガル、スペインであり、バドミントン用としては、ポルトガル産のものが最適であり、ヨネックスでもそれを使用しております。
コルクは、コルクという木の樹皮であり、軽く衝撃に強く弾力性に勝れているために、シャトルコックに適しているのです。いいかえれば、シャトルコックがラケットによって打たれた時に、羽毛軸を痛めず、ガットに与える衝撃を少なくする役割をはたしているのです。


(8)コルク

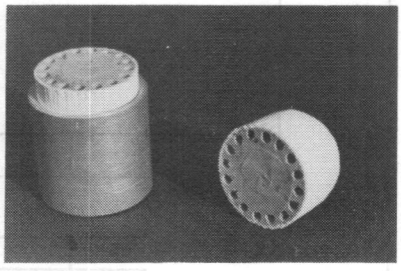
(9)レザー被せ―コルクに糊をつけ、レザーを被せて乾燥させ、一定の径を保持させます。
このレザーによって、バドミントンの繊細なテクニックが可能となるのです。


(9)レザー被せ

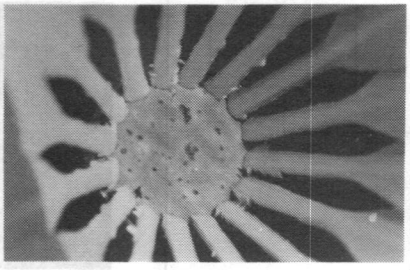
(10)コルクカット―一定（規定）の長さにカットされます。


(10)コルクカット

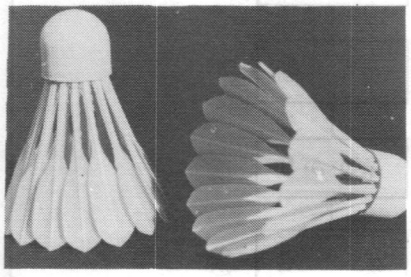
(11)穴あけ―カット羽根を植込むために穴を16個あけます。


(11)穴あけ

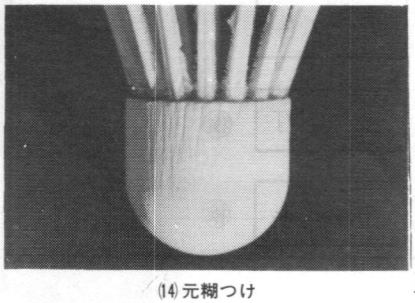
(12)羽根植（組立て）―ここで、コルクに羽根が植込まれることになりますが、シャトルコックは、0.1gの重量の差が競技上大きな影響を与えます。この0.1gの差は、ハイクリヤーにして、30~45cmぐらいの違いとなってあらわれてきます。
そのため羽根とコルクのバランスを考え、重量の調整が行なわれて植込まれます。
そして、そり、曲りに依り、各々羽根の捻り角度が異なり、この調整によって全てのシャトルコックが同一の飛行状態を保つことができるのです。


(12)羽根植

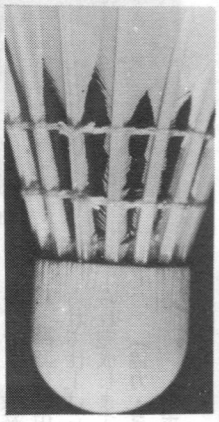
(13)矯正（検査）―羽根の植込み作業が正常に行なわれたかどうか検査し、捻り角度、バランス、選別違いや丸味のチェック、微調整を行なう繊細で高度の技術を要する工程です。

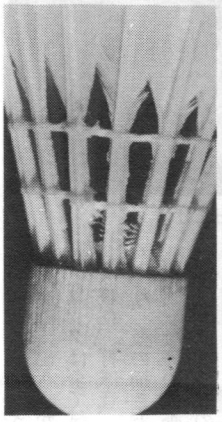

(13)矯　正

(14)元糊つけ―検査が終了したシャトルコックの羽根の植込み部分を糊で固定します。


(14)元糊つけ

(15)糸かがり―羽根の軸部を二段


(15)糸かがり


(16)接　着

シャトルコック生造工程

（注）
㊎印は検査も行なわれています

コルク
加工
皮かぶせ
カット ㊎
穴あけ ㊎

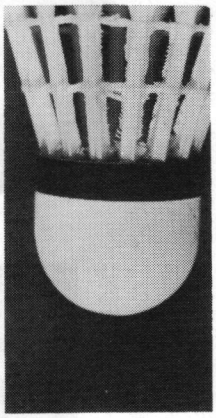
羽毛
洗濯
乾燥
プレス ㊎
第一選別 ㊎
第二選別
第三選別 ㊎

羽根植
矯正 ㊎
元糊
糸かがり ㊎
接着 ㊎
テープ巻
試打 ㊎
仕上 ㊎

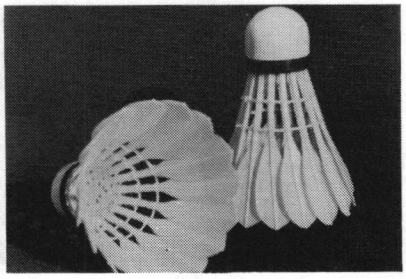
に糸でかがり、径が決められると、シャトルコックの原型ができあがります。

(16)接着―二段に糸でかがった部分を軸と接着、固定して、競技中、シャトルコックが破損するまで、同一の飛行距離、状態を保持できるようにします。

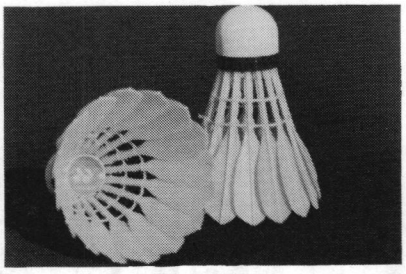
(17)テープ巻―コルク部分にグリーンテープを巻き、アクセントを付け、シャトルコックの位置をとらえやすくします。



(17) テープ巻



(18)試　打



(19)仕上げ

(18)試打―出き上がったシャトルコックは全て試し打ちが行なわれ、打球音、飛行状態（ぶれ、孤の描き方）飛行距離、回転数等の検査を行ないます。

(19)仕上げ―検査の済んだシャトルコックは最終検品が行なわれ、確認後、中にシールが貼られて仕上げられ、筒に納められ完成します。

（協力・ヨネックス・スポーツ）


MADE BY SUNBATTA
SUNBATTA
Rush
SunBatta
BADMINTON RACKET
S-75
Rush
SunBatta
サンバタ

New Products Information

有名スポーツ店で販売しております◆

●カワサキラケット

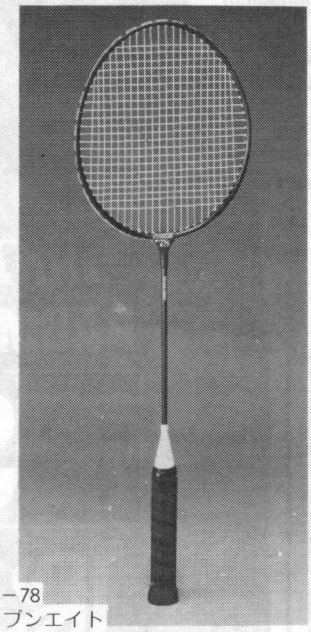
〈新製品〉

カワサキバドミントンラケット《Bシリーズ》

カワサキバドミントンラケット〈Bシリーズ〉

河崎ラケットがバドミントンラケットの部門で三点の新製品を開発〈Bシリーズ〉と銘打って販売を展開する事になりました。当社ではBシリーズのBは敏腕のイニシャルとして選手層のために開発したものです。

新しいラケットについては次の通りです。いずれも軽さ、確かさ、丈夫さ、そしてフィーリングの良さが特長です。



B－78
セブンエイト

新製品B－78

セブンエイト

グリーンメタリック・ケース付

¥6,000

軽さと強さを徹底的に追求しました。

敏速な動きが要求されるバドミントン。軽くしなやかで、しかも強いラケットがプレイの鍵をにぎります。このような要求から生まれたのが、カワサキのB－78。スピードの乗った鋭角的な打球を生む、しなやかな腕です。軽く柔軟なフレーム。細く強靱なシャフト。苛酷な使用に十分な耐久力でこたえるジョイント部。それぞれに最高の素材を使ってしかも理想的なバランスをもたせました。さまざまなテクニックが自由に駆使できます。

3つの素材の特性を1本のラケットに生かしました。

フレームには、軽く、柔軟性に富むアルミを使用。硬く強靱な特殊鋼、クロムモリブデンを使った6㎜ノーテーパーシャフト。ジョイント部は軽く苛酷な使用にも耐えるアルミ合金ダイカストです。それぞれの素材の特性が1本のラケットに結集され、まさにきたえられた人間の筋肉のように機能します。パワフルなバドミントンのためのセブンエイト。

㊕No.B－76（フロンティア）
ステンレス、ケース付
5500円

No.B－75（エリート）
モスグリーンメタリック、ケース付
5500円

No.B－73（オールマン）
ブルーメタリック、ケース付
5000円

No.B－69（ブルーリース）
半白、白、サックス、赤、ケース付
4500円

㊕No.B－67（No.1200）（スタミナデラックス）黒、ケース付
4000円

㊕No.B－65（No.1000）（スタミナ）白、ケース付
3500円

㊕No.B－63（No.201）（ウイニングコース）赤、ケース付
3000円

㊕No.B－61（ユースパワー）
紺、ケース付
2500円

〈全面広告〉

新製品紹介コーナー

◆このコーナーで紹介した製品は全国

●ゴーセン

内容・外観共に充実して一新
驚異的――2倍の耐久力

ニューシャトル「スワニー」

★シャトルコック



内容・外観共に充実して一新
驚異的―2倍の耐久力―
ニューシャトル「スワニー」

シャトルコックが出来上がるまでには実に30数行程にも及ぶ煩雑で繊細な神経を必要とする作業の連続であります。

ちょっとした集中心の欠除でも完全なるシャトルはできません。

メーカーとして一番困惑するのは、完成後試打をするまで各クラスの区別ができない点であります。

懸命に努力しても、Aクラスは精々30%前後であります。加えて原毛は海外から求めねばなりません。当然コストアップを招くゆえんであります。

それゆえに、より耐久力のあるものを供給するのがメーカーの責務だと考えており、長年研究の結果、次の事項に最重点をおき、新製品の開発に成功いたしました。

(1)強度―特殊な接着剤使用の為、2人が引いても抜けない。従来のものに較べて約2倍の耐久力を持続するに至り、日本一と自負しています。

(2)軸太の原毛を使用し、さらに耐久力を高めました。

(3)折損防止のため、脂肪を与える薬品及び、脂肪分蒸発を防止する薬品の開発に成功しました。

(4)機械化による厳重なる試打に成功。

(5)飛距離を10ダース箱に表示。

以上の如く、内容を抜本的に改良を加え、全く一新しました。

又ブランドも、これを機会に「スワニー」と変更し、内外共に面目躍如たる新製品として、3月より発売することになりました。

〝一球入魂〟で作りましたシャトル

必ずや皆さん方に喜ばれ、親しまれ、ご期待に応えることでしょう。

New Products Information

有名スポーツ店で販売しております◆

抜群のフィーリングに彩られたこの軽さ、この弾力性！

カワサキの主力製品がBシリーズに集約

プレーヤーに一〇〇%力を発揮してもらおう、世界のトップレベルの座を確保してもらおう。

カワサキでは、こうした願いを込めて従来の選手用ラケットに新製品を加え、これらをBシリーズとして集約しました。

これらは全てカワサキが高性能、高品質のラケットとして世界に誇る製品で、多くの内外一流プレーヤーに愛用されていますが、このBシリーズは次のようなラケット群で構成されています。

B－78（セブンエイト）
B－77（グランドスラム）
B－76（フロンティア）
B－75（エリート）
B－73（オールマン）
B－69（ブルーリース）
B－67（スタミナデラックス）
B－65（スタミナ）
B－63（ウイニングコース）
B－61（ユースパワー）

●カワサキラケット

〈新製品〉

素材の特性をこの一本に凝縮

☆B－77
グランドスラム

¥6,000

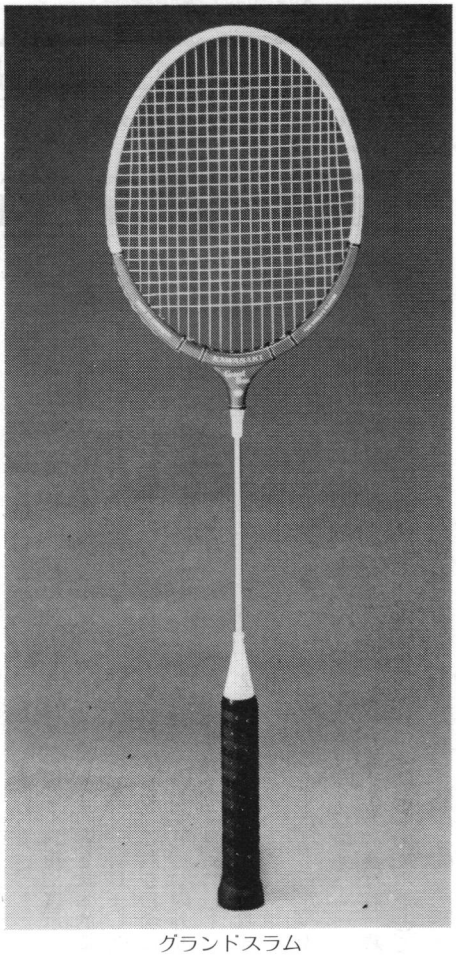
ウッドとスチールの特性を力ワサキの技術がこの一本に凝縮させて完成したラケットがB－77。これは、Bシリーズ中のエースとして発表されたものです。

フレーム面をやや縮少し、反発力をフルに高めたのが、特徴となっていますが、堅牢さも抜群です。

素材はフレーム部分が、ウッド、シャフト部はクロームモリブデン6～5ミリ、テーパー付き。

このウッドとクロームモリブデンが理想的に調和し、それぞれの特性を十二分に生かしています。そのため、シャープさも一段とみがきがかかり、バドミントンの華麗さを一層ダイナミックに反映させてくれるラケットといえましょう。

今後のカワサキBシリーズに御期待下さい。



グランドスラム

新製品紹介コーナー

◆このコーナーで紹介した製品は全国

●ゴーセン

ウインテックス ウェアー

最近のスポーツウェアーは外見での使用率が高い様ですが、本来のスポーツウェアーの必要条件と云えば、機能性と、吸収性に限られるとも云えます。

当社はこの原点にもどるといえば大げさですが、外見は落着いた感じを表現し、内部は機能性、吸収性を重視したトレーニングウェアーです。

No.452、No.453のトレーニングスーツ（紺×赤ライン）は、表面はポリエステル100%を使用し、裏はポリエステル30%、綿70%を使用した理想的なトレーニングウェアーです。

他に女性専用トレーニングウェアーとしてNo.454、No.455のレインボーカラー（グリーン×ブルー×ピンク×イエロー）を配合し、デザインも女性向きにしたウェアーも発売中です。

又、白、アイボリー色のみでなく、色生地のトレーニングウェアーも別注製作しています。

シャツ関係も、白無地をはじめ、エリカラー、ステッチラインを揃え、襟もテーラーカラーとポロ襟の2種類。

半ズボン関係では、男子用半ズボンを始め、女子選手に人気のあるホットパンツも発売しています。





◆揃えて保存すればバドミントンの百科事典になる◆

バドミントン界バックナンバー販売一覧表

1号＝品切れ
2号＝品切れ
3号＝品切れ
4号＝品切れ
5号＝品切れ
6号＝品切れ
7号＝品切れ
8号＝品切れ
9号＝品切れ
10号＝品切れ
11号＝品切れ
12号＝品切れ
13号＝100円
▼インタハイ▼監督・選手の手記▼日本協会の組織と運営▼私の指導法
14号＝100円
▼教職員大会▼関西学生界の現状▼自衛隊でバドミントン
15号＝品切れ
16号＝品切れ
17号＝品切れ
18号＝100円
▼全日本総合選手権▼同大会写真グラフ▼バックハンドの徹底的研究
19号＝100円
▼アジア大会総まくり▼インドネシアバドミントン界の実情▼ルール100問▼百年の大計を考えよ
20号＝品切れ
21号＝100円
▼バドミントン発展のために▼全国に広げよう、ママさんバドミントン▼バドの守りと攻め
22号＝品切れ
23号＝品切れ
24号＝品切れ
25号＝130円
▼私たちの練習法▼インタハイ▼小島はハルトノになぜ勝てぬ▼ネットの話
26号＝130円
▼相沢・竹中特集▼ばどみんとん昔話▼ここがきたい▼勉強とクラブは両立するか
27号＝130円
▼中国をめぐる動きと現状▼黒潮国体▼学生界展望
28号＝130円
▼ホープ順調に成長▼女子学生界を展望する▼小島海外で活躍▼ワイド版〝読者の広場〟
29号＝130円
▼全日本総合選手権特集▼高木が女王にカムバック▼近づくユ杯▼代表選手を診断すれば
30号＝130円
▼第1回国際女子競技会▼世界をめざす▼全国の用具アンケート▼百万人のバド上達法
31号＝品切れ
32号＝130円
▼海外遠征総まくり▼近づくユ杯と海外情勢▼第一線選手アンケート
33号＝品切れ
34号＝130円
▼ユ杯の三連勝なる▼栄光と熱戦のあと▼神様に昇格した中山主将▼栄冠、涙あり
35号＝品切れ
36号＝品切れ
37号＝130円
▼ト杯アジア東地区決勝▼ミュンヘン五輪報告▼全国中学生大会▼百万人のバド上達法
38号＝品切れ
39号＝130円
▼鹿児島国体▼全日本学生選手権▼大衆スポーツ活動の基盤と現状▼バド72年10大ニュース
40号＝130円
▼47年度全日本総合選手権▼小島〝復活〟▼女子ホープは目白押し▼アマチュアリズムとは
41号＝130円
▼第2回国際女子競技会▼欧州の女王▼たくましく変身した欧州勢
42号＝品切れ
43号＝品切れ
44号＝品切れ
45号＝品切れ
46号＝130円
▼中国の実力とその周辺▼ハルトノ以外対抗できず▼中国×英国4戦の全記録
47号＝130円
▼第24回インタハイ▼金沢市工と四条畷に栄冠▼西村、単複ともに危げなし▼徳田〝中山二世〟
48号＝130円
▼第1回日中競技大会▼抜群のスピードとテクニック▼中国強し▼中国10戦全勝を飾る
49号＝130円
▼48年度全日本総合選手権▼小島輝くV7▼湯木も王座ガッチリ▼28回国民体育大会
50号＝130円
▼中国チームから得たもの▼日中大会における中国3選手（湯・侯・陳）に学ぶ連続写真
51号＝130円
▼第3回国際競技大会▼女子の活躍で日本選抜辛勝▼連載（小島一平）
52号＝220円
▼全英選手権大会▼湯木2度目の女王の座へ▼相沢・竹中3連勝ならず▼連載（小島、中山）
53号＝220円
▼全英選手権を終えて（湯木博恵、栂野尾昌一）▼スナップ写真集▼連載（小島、中山）
54号＝220円
▼第1回ピンナップ特集▼外国からの挑戦者たち
55号＝220円
▼第五回女子チャンピオンズ▼連載（小島、中山）▼バドミントンと私
56号＝220円

◆かんたんに本誌を綴じることのできる◆

バドミントン界専用合本バインダー受付中

●定価 500円（送料実費） お申込みはハガキで

◆濃紺布張り・金文字押し・ノリ，穴あけ不要◆

▼カナダオープンで池田・栂野尾優勝▼ビギナーへの手紙▼母と子大会▼連載（小島）

57号＝品切れ

58号＝220円

▼中国・インドネシアついに対決▼デンマークオープン写真集▼連載（小島、中山）

59号＝220円

▼第2回訪中友好試合▼教職員大会▼インタハイ▼アジア大会速報▼連載（小島）

60号＝品切れ

61号＝220円

▼第29回国民体育大会▼東、西日本学生選手権▼全英選手権大会（ギルクス、ハルトノ、グナラン）連続写真▼連載

62号＝品切れ

63号＝220円

▼全日本総合選手権▼同写真集▼連載（小島）

64号＝220円

▼第4回国際競技会▼湯木ギルクスに快勝▼英国強し▼第6回全日本チャンピオンズ

65号＝220円

▼母島のバドミントン▼内外展望台▼第1回全日本総合団体戦▼デンマークオープン

66号＝品切れ

67号＝品切れ・

68号＝220円

▼無念！ユ杯V4ならず▼湯木中山の大健闘もむなし▼バドミントンに賭けた青春・湯木

69号＝220円

▼ユ杯詳報▼湯木、中山マイペース▼相沢・竹中不調▼日本必死の防戦も及ばず

70号＝220円

▼インタハイ▼植野三冠に輝く▼男子は林田が制す▼東日本学生選手権

71号＝220円

▼ト杯東地区予選対香港▼日本完勝▼土田初出場で重責を立派に果たす

72号＝220円

▼全日本社会人大会▼小島、湯木が優勝▼全国の指導者に望むこと

73号＝220円

▼第4回日中競技会▼ヤングパワー林詩銓▼はつらつ劉霞▼中国ランキング

74号＝220円

▼全日本総合選手権▼小島不滅の金字塔▼湯木キズだらけの四連勝▼徳田白熱の善戦

75号＝220円

▼第30回国民体育大会▼神奈川が二年ぶり10度目の栄冠▼全日本学生選手権

76号＝220円

▼ト杯アジア東地区決勝対韓国▼日本9－0で完勝▼第5回国際競技会▼銭谷×シュナーゼ戦

77号＝220円

▼全日本総合選手権団体戦▼第7回全日本女子チャンピオンズ▼ジャカルタ新聞とユーバー杯

78号＝300円

▼全英選手権大会▼ハルトノ八回目の栄冠▼ギルクスは三冠王▼アジア招待大会▼スミラト中国勢を連破して優勝

79号＝300円

▼ト杯アジア地区決勝対マレーシア▼王国のバドミントンとスポーツ界▼夜明けの時代をふりかえって

★申込方法★

ハガキにご希望のナンバーと冊数を明記のうえ、左記あてお申し込みください。発送のさいに振込用紙を同封しますので、到着後代金をお振り込みください。

なお、毎週一回集計のうえ集中的に発送するシステムをとりますので、約二～三週間の時間的余裕をみてください。

本誌専用合本バインダーもぜひ同時にお申込みください。

★申込先★

〒150 東京都渋谷区神南 一ノ一ノ一

岸記念体育会館内

日本バドミントン協会出版局

◆The Badminton World '77 Calendar

1977年バドミントン・カレンダー

- ●好評発売中・定価 950円（送料実費）
- ●大型B3判 12ページ・オールカラー
- ●男女一流プレーヤーを網羅 在庫僅少

◆第7回世界女子バドミントン選手権大会記録

ユーバー杯奪還への道

- ●発売中・定価 1,000円（送料 120円）
- ●A5判 128ページ，うちカラー16ページ
- ●プレーヤー，指導者必読の書

ユーバー杯奪還への道
代金後払いにて発売中

●**体裁**＝A5判128ページ、うちカラー16ページ
●**主な内容**
第Ⅰ部＝大会経過と試合全記録
☆必勝の念で出発☆波乱を含み準決勝へ☆ベック接戦の末敗る☆日本ついにV4ならず☆ユーバー杯チーム合宿記☆観戦記・決勝全ストローク・プレー
第Ⅱ部＝ユーバー杯奪還対策をさぐる
☆これからの若手育成が肝要（小宮淳宏）☆選手よもっと自分にきびしくあれ（中山紀子）☆全世界に眼を向けよう（福井正康）☆背水の陣で総力をあげてがんばろう（片岡輝明）☆第7回ユーバー杯大会日本チーム監督として（小飼栄一）
第Ⅲ部＝オフ・ザ・コート
☆忘れられないこの一年間（中山紀子）☆SAIPON？？？（福井正康）☆選手団日記
●**定価1000円**
●**申込方法**＝ハガキに住所・氏名・申込部数を明記のうえ、左記あてお送りください。
●**申込宛先**＝〒150東京都渋谷区神南一ノ一ノ一 岸記念体育会館内・日本バドミントン協会出版局ユ杯係

学連だより

「バド界」愛読者、バドミントン愛好者の皆様、日頃学生バドミントンにご支援を賜わり、ありがたくお礼申し上げます。

さて、今年度は学生大会で一番大きな大会、全日本学生選手権大会を東京で行い、学生連盟として、本年度はとても充実したものとなりました。また来年度には東日本大会を関東地区で予定しております。今年度以上に充実したものにするよう、連盟一同、頑張る所存でおりますので、なにとぞご支援のほど宜しくお願いいたします。

さて、この場を借りまして、来年度の主な大会予定をお知らせいたします。

○全日本学生選手権大会（十一月・鳥取県）
○東日本大会（七月・群馬県）
○西日本大会（七月・石川県）
○関東学生春・秋季リーグ戦（五月・十月）
○関東選手権大会（六月）
○関東新人選手権大会（十二月）

以上宜しくお願いいたします。

全日本学生バドミントン連盟
関東学生バドミントン連盟

編集室から

◆今月号は小島一平さん、サントリーチームの、対談、座談会特集を組んでみました。昨年の暮れに取材しましたので、「今年、今年度」と言ったところに注意を払って読んでください。またご感想なども、どしどしお聞かせください。

◆二月はヨーロッパの強豪が来日して、国際大会が開かれ、下旬には日本の一線級が香港に遠征してアジア招待選手権大会が行われます。本誌記者も同行して写真を撮りまくってまいりますので、ご期待ください。

◆来月号は、その国際大会の模様を中心にお届けします。お楽しみに!!

◆皆様からの投稿をお待しています。観戦記・クラブ紹介など何でも結構です。クラブ紹介は要請があれば、都合のつき次第、本誌記者が取材にまいりますので、ご連絡ください。

＝昭和51年度 大会予定カレンダー＝

◆すでに行われた大会

第26回全日本実業団選手権大会 6月25～30日（藤沢市）
第27回全国高等学校選手権大会 8月1～6日（中野市）
第15回全日本教職員選手権大会 8月11～15日（東京都）
第6回全国中学生大会 8月18～20日（仙台市）
第19回全日本社会人選手権大会 9月12～15日（宮崎市）
第5回日中競技大会 9月下旬～10月上旬（北京市・他）
第31回国民体育大会競技 10月25～28日（佐賀県牛津町）
第27回全日本学生選手権大会 10月26～31日（東京都）
第4回アジア選手権大会 10月29～11月7日（ハイデラバット市）
昭和51年度全日本総合選手権大会個人戦 12月8～12日（東京都）
昭和51年度全日本総合選手権大会団体戦 2月19～20日（東京都）
国際大会（招待）
第6回国際競技大会 2月11日～13日（東京都・他）
国際大会（派遣）
第20回全カナダオープン選手権大会 12月1～4日（トロント市）

◆開催の準備を進めている大会

第25回全デンマークオープン選手権大会 3月12～15日（コペンハーゲン市）
第67回全英オープン選手権大会 3月23～26日（ウエンブレー市）

バドミントン界　第89号　第9巻第3号　定価 300円

昭和52年3月1日発行
編集／発行人・秦　浩

©1977 無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号150 東京都渋谷区神南1－1－1 岸記念体育会館
電話 03－467－3111(代表) 内線351
振替 東京5-32193(協会) 東京5-9525(編集部)

印刷所・明宏印刷株式会社 東京都豊島区南大塚2－29－8

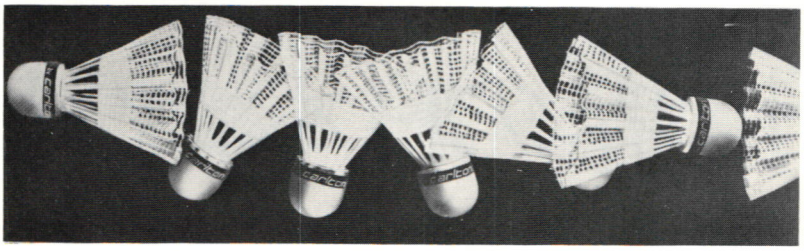
carlton

飛びが違う・カールトン。

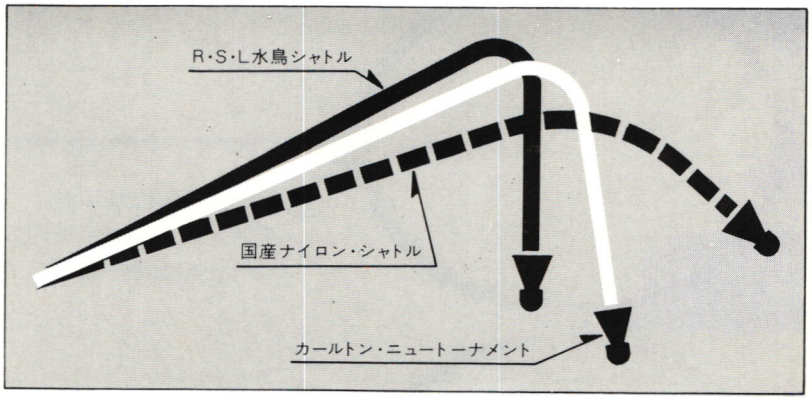
新しい2つの再開発で……水鳥シャトルに匹敵する高性能になりました。

ニュートーナメント

ターン・オーバーが速い。
白く見えやすい。



右の図はR・S・L(水鳥シャトル)、カールトン・ニュートーナメント、国産ナイロン・シャトルの飛行線を表わしたものです。
カールトン・ニュートーナメントが水鳥シャトルの飛び方にいかに酷似しているかおわかり頂けると思います。



日本バドミントン協会審査合格品 IBF(国際バドミントン連盟)公認球

●性能にうるさい方は

ニュートーナメント 1個 ¥280

●耐久性優先の方には

インターナショナル 1個 ¥220

(国産ナイロン・シャトルよりもはるかに良い性能と耐久力があります。)

※ニュートーナメントは世界各国の協会で、試合球として採用されています。

総発売元
メトロレジャー株式会社 〒101 東京都千代田区外神田5−6−4
☎(03)833−3661(代)

月刊「バドミントン界」第89号
昭和五十二年三月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日　第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会　定価三〇〇円

このマークを語らずに

「世界の日本」は語れない。



NO.B-75〈エリート〉
モスグリーンメタリック（ケース付）
フレーム価格￥5,000



NO.B-73〈オールマン〉
ブルーメタリック（ケース付）
フレーム価格￥4,500

日本バドミントン協会推薦

カワサキラケット
河崎ラケット工業株式会社